

沖縄県地域医療構想セミナー～2025年とその後の地域医療構想の推進に向けて～

# 救急医療から考える、 急増する医療需要に応える医療提供体制のあり方

2025年1月25日  
株式会社日本経営

日本経営グループは各分野のプロフェッショナルファームの総称であり、主なメンバーファームはそれぞれ次の業務を展開しています。

## コンサルティング業務

### 株式会社日本経営

経営戦略、組織・人事戦略等の立案、実行コンサルティング、人材育成支援、情報配信、ホームページ作成支援など

### NKGRコンサルティング株式会社

病院・クリニック・企業などの経営・財務コンサルティング、業績改善の設計・モニタリングの支援など

### 株式会社ミライバ

企業・病院・介護福祉施設の組織開発・人材開発など

## コンプライアンス業務

### 日本経営ウィル税理士法人

近畿税理士会・東京税理士会所属。企業・資産家・病院・クリニック・介護福祉施設等の税務顧問・税務財務コンサルティング・組織再編・事業承継・国際税務・信託・資産組み換えなど

### 社会保険労務士法人日本経営

労務顧問、労務戦略の立案推進、社会保険・労働保険に関する諸手続・相談、年金相談など

### NIHON KEIEI (PHILIPPINES) INC.

フィリピンのアウトソーシングサービス（記帳代行、税務申告代行、給与計算代行）、会社設立業務、SEC, BIR, SSS, PH, HDMF 関連の申請手続き代行、顧問業務、翻訳業務 など

### 株式会社日本経営リスクマネジメント

リスクマネジメントコンサルティング、ファイナンシャルプランニング業務、生命保険の募集に関する業務、損害保険代理業、共済代理業など

### 株式会社ブルーライン・パートナーズ

病院・クリニック・介護事業者・ヘルスケア関連企業に対して、ファンドを活用した事業拡大、財務健全化のための金融支援など

### 御堂筋監査法人

監査・保証業務（医療法人監査、社会福祉法人監査、任意監査、その他の監査・保証業務）、アドバイザリーサービス（内部統制構築支援、内部監査支援、財務デュー・デリジェンスほか）など

### 行政書士法人 日本経営

遺言書の作成および遺言執行、相続手続支援業務など

### NIHON KEIEI (INDIA) PRIVATE LIMITED

インドのアウトソーシングサービス（記帳、給与計算、税務申告、決算作成）、アドバイザリーサービス、監査窓口対応、各種顧問業務、会社設立・清算、会計のモニタリング支援など

# 会社紹介 | 支援実績

病院支援

**1,665** 件

うち、国立・自治体立病院 251件  
公的医療機関 147件

介護・福祉支援

**697** 件

一般企業支援

**516** 件

北海道

病院 **85**

介護・福祉 **14**

一般企業 **24**

札幌オフィス

東北

病院 **106**

介護・福祉 **40**

一般企業 **17**

東北事務所

東海北陸

病院 **158**

介護・福祉 **66**

一般企業 **30**

中国四国

病院 **266**

介護・福祉 **86**

一般企業 **48**

九州沖縄

病院 **318**

介護・福祉 **96**

一般企業 **54**

福岡オフィス

四国事務所

近畿

病院 **351**

介護・福祉 **213**

一般企業 **148**

関東信越

病院 **381**

介護・福祉 **182**

一般企業 **195**

大阪本社

東京支社

※2007年～2024年9月末時点の合計支援実績

## 近藤 瑛佑

KONDO

EISUKE

株式会社日本経営 リサーチ&インテリジェンス事業部 課長

---

### (1) 略歴

- 病院の経営改善業務、経営戦略の策定支援等への従事多数。
- 経営分析システムの開発にも携わり、レセプトデータ・DPCデータを活用した経営改善に資する分析や、国保データベース等のデータを活用した地域分析を行う仕組みを社内で構築。
- 厚生労働省地域医療構想推進支援業務に従事のほか、地域医療構想推進支援事業および地域医療計画・介護保険事業計画等の行政計画にかかる支援の実績多数。

### (2) 照会先

-Email : [eisuke.kondo@nkgr.co.jp](mailto:eisuke.kondo@nkgr.co.jp)

-Phone : 06-6865-1373

---

1. 新たな地域医療構想が描く姿と沖縄県の地域性
2. 救急ひっ迫からみる医療提供体制の課題
3. 課題解決の論点①救急医療の役割分担
4. 課題解決の論点②回復期医療の強化
5. 新たな地域医療構想で何を議論すべきか

## はじめに

- ✓ 病床機能報告結果については公表資料に記載された情報を転記しています。一部入力エラーと思われる数字がありますが、修正や加工を施していません。
- ✓ 病床機能報告および救急搬送データの分析は病院のみであり、地域全体の状況を示すものではありません。有床診療所や精神科病院についての分析は本資料では取り扱っていないことに留意をお願いします。
- ✓ 需要推計では全国、または、沖縄県全体の発生率を用いて、各医療圏の人口構成に投影することで推計をしています。数値の多寡ではなくトレンドを読み解くものとして取り扱っております。
- ✓ 各種データの特性により、一部で実態と乖離が生じる旨のご理解をお願いします。
- ✓ スライド数および発表時間を考慮して、中部医療圏と南部医療圏を中心とした構成になっていることを予めご了承ください。

# 1. 新たな地域医療構想が描く姿と沖縄県の地域性

皆様のご意見をお聞かせください

①既に起こっている

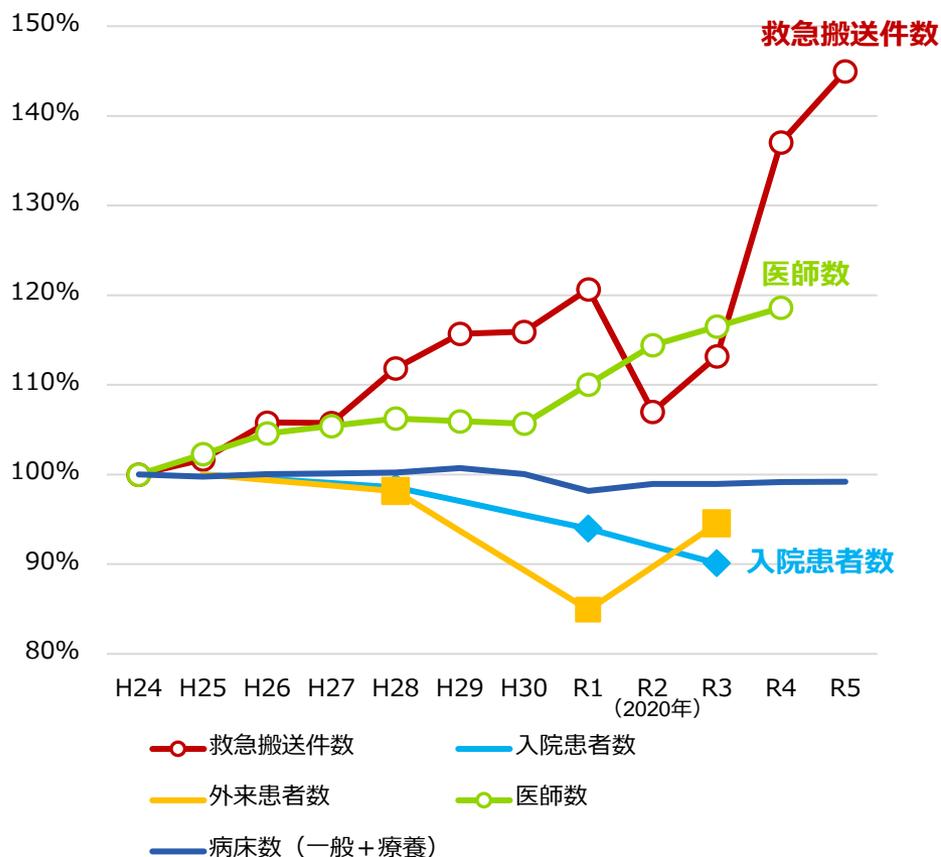
②5～10年後に起こる

③10～20年後に起こる

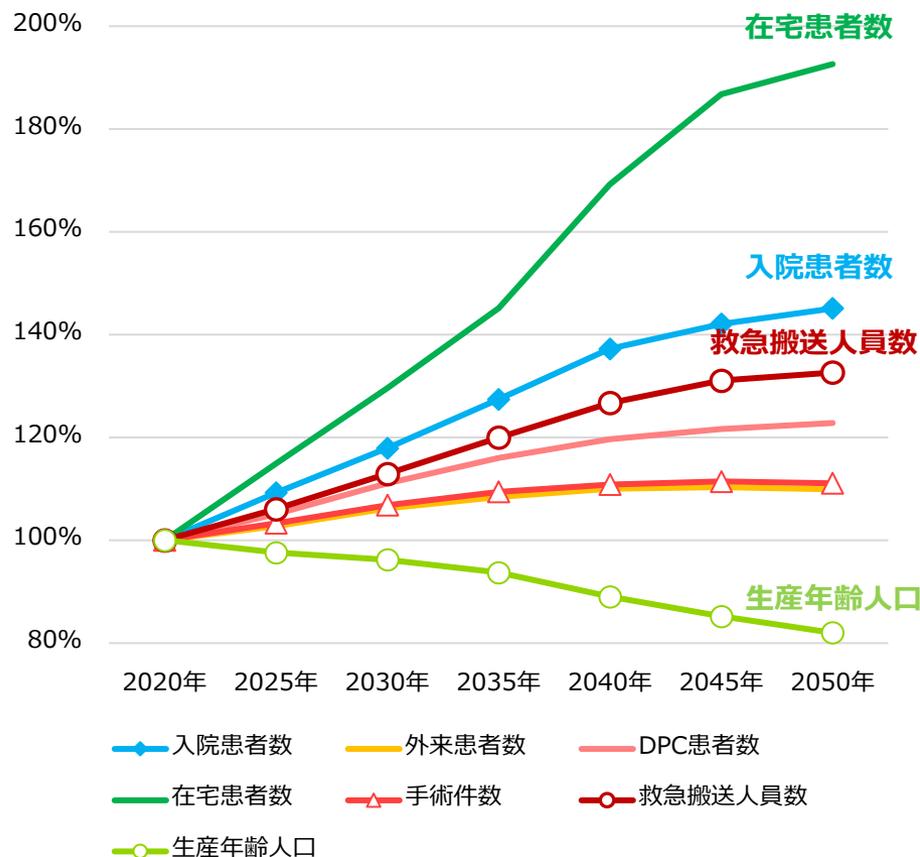
# 今後の医療需要の伸びを考えるとこれからが本番

- ✓ 直近の10年程度は入院患者数および外来患者数が減少している。救急搬送件数は大幅に増加しているが、医師数も増加している。
- ✓ 救急搬送や在宅患者のニーズは今後も増加が見込まれるが、生産年齢人口が減少するため、これまで以上に医療提供体制を維持することが困難になるとと思われる。

これまでの需要と供給の推移



これからの需要と供給の推計



# 地域医療構想の目指す姿を再考する

- ✓ 沖縄県においては地区医療提供体制協議会にて、「医療機能の分化・連携」や「病床整備」について議論が行われてきた。

## 目的

中長期的な人口構造や地域の医療ニーズの質・量の変化を見据え、医療機能の分化・連携を進め、良質かつ適切な医療を効率的に提供できる体制を確保する。

## 課題 1

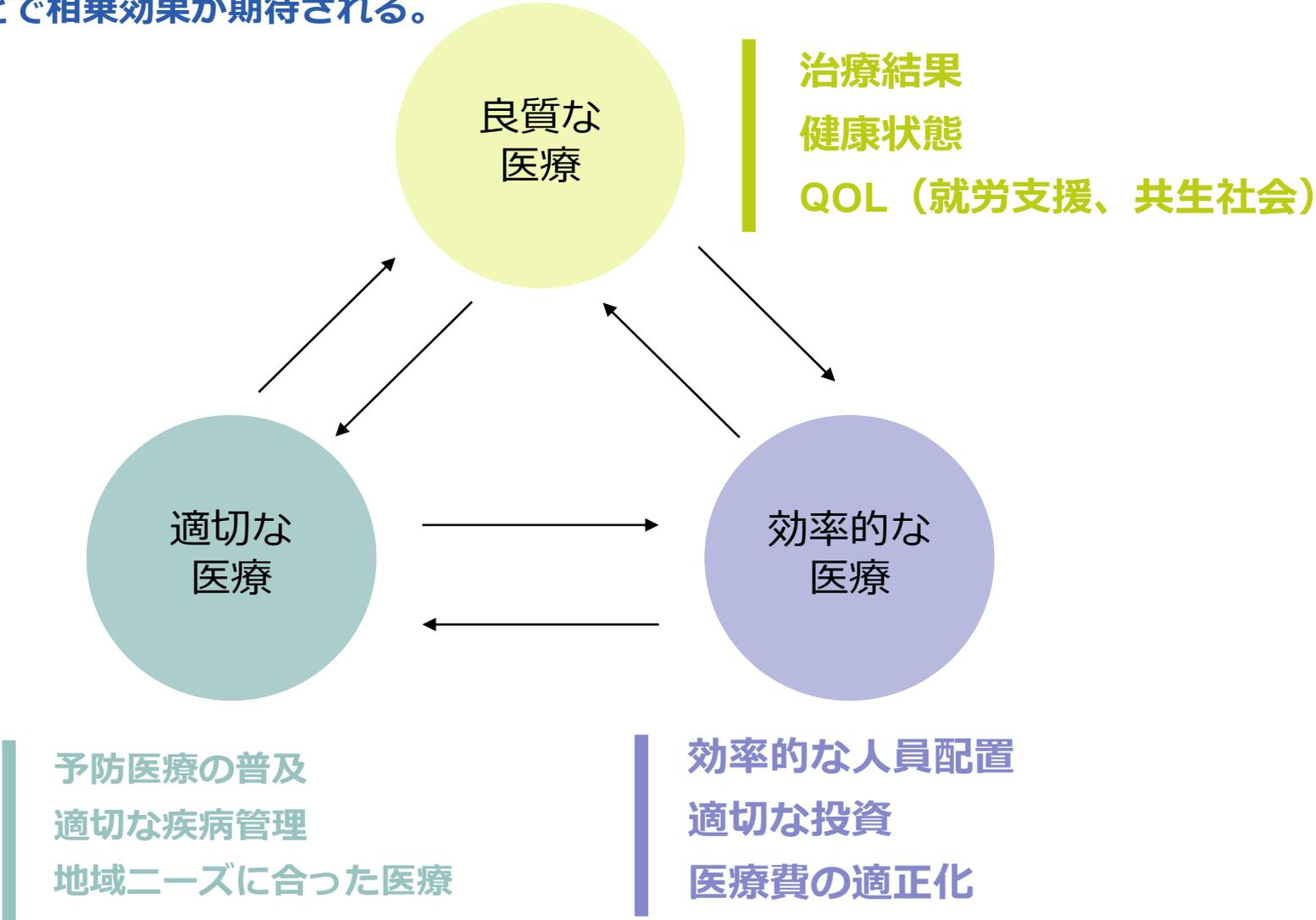
医療機能の分化・連携  
ができていますか

## 課題 2

「必要とされる機能」  
の病床整備ができていますか

# 地域医療構想の目指す姿を再考する

- ✓ 個別最適で考えるとトレードオフの関係になる。地域の全体最適に基づいて医療提供体制を考えることで相乗効果が期待される。



# 適切な医療によるインパクト

- ✓ 医療提供体制の整備だけでなく、需要を適切に抑制する目線をもつことが重要。

図1：入院患者数の将来推計

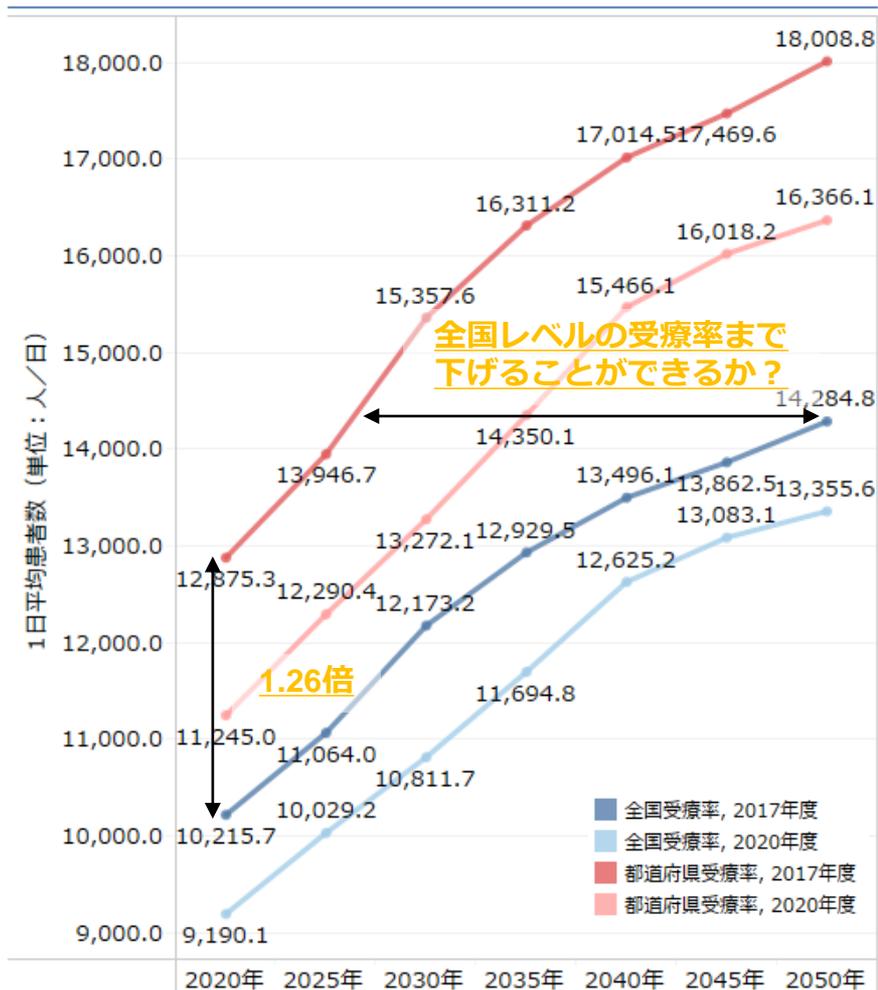
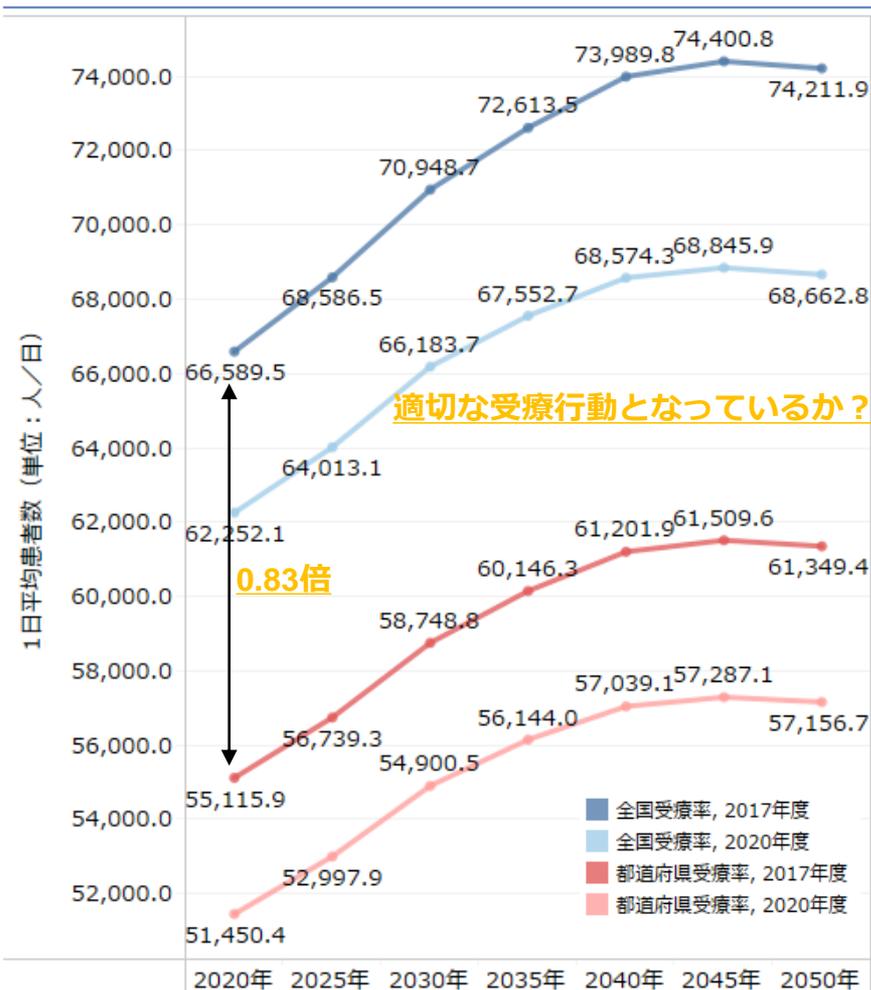


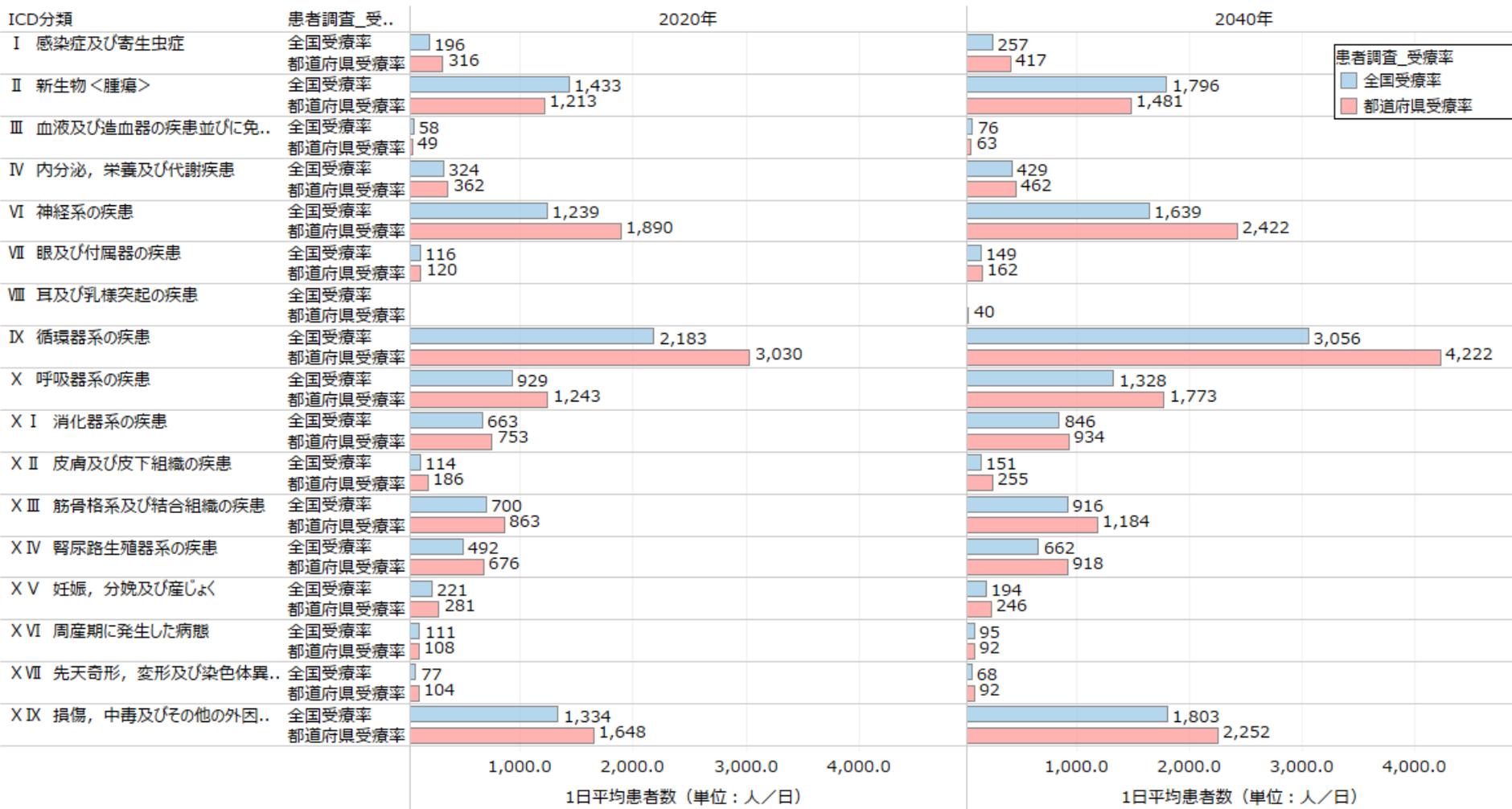
図2：外来患者数の将来推計



出典：「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）及び患者調査（厚生労働省）を用いて推計

# 参考 | ICD大分類別の入院需要の比較

## ICD別の推計入院患者数の比較



# 新たな地域医療構想で必要な目線

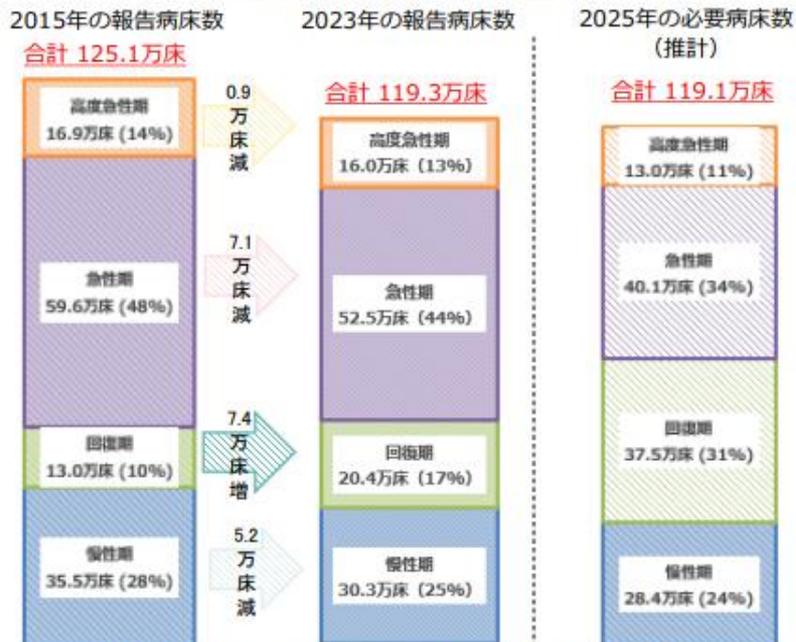
## 現行の地域医療構想

### 病床の機能分化・連携

団塊の世代が全て75歳以上となる2025年に向けて、高齢者の医療需要が増加することが想定される。

このため、約300の構想区域を対象として、**病床の機能分化・連携を推進**するための2025年に向けた地域医療構想を策定。

#### <全国の報告病床数と必要病床数>



※ 病床機能報告の集計結果と将来の病床の必要量は、各構想区域の病床数を機械的に足し合わせたものであり、また、それぞれ計算方法が異なることから、単純に比較するのではなく、詳細な分析や検討を行った上で地域医療構想調整会議で協議を行うことが重要。

## 新たな地域医療構想

入院医療だけでなく、外来・在宅医療、介護との連携等を含む、**医療提供体制全体の課題解決を図るための地域医療構想へ**

2040年頃に向けて、医療・介護の複合ニーズ等を抱える85歳以上の増加、人材確保の制約、地域差の拡大が想定される。

こうした中、限られた医療資源で、増加する高齢者救急・在宅医療需要等に対応するため、**病床の機能分化・連携に加え、医療機関機能**（高齢者救急の受入、在宅医療の提供、救急・急性期の医療提供等）に着眼し、地域の实情に応じて、「**治す医療**」を担う医療機関と「**治し支える医療**」を担う医療機関の役割分担を明確化し、**医療機関の連携・再編・集約化を推進**。

#### <新たな地域医療構想における基本的な方向性>

##### 地域の患者・要介護者を支えられる地域全体を俯瞰した構想

85歳以上の高齢者の増加に伴う高齢者救急や在宅医療等の医療・介護需要の増大等、2040年頃を見据えた課題に対応するため、入院に限らず医療提供体制全体を対象とした地域医療構想を策定する。

##### 今後の連携・再編・集約化をイメージできる医療機関機能に着目した医療提供体制の構築

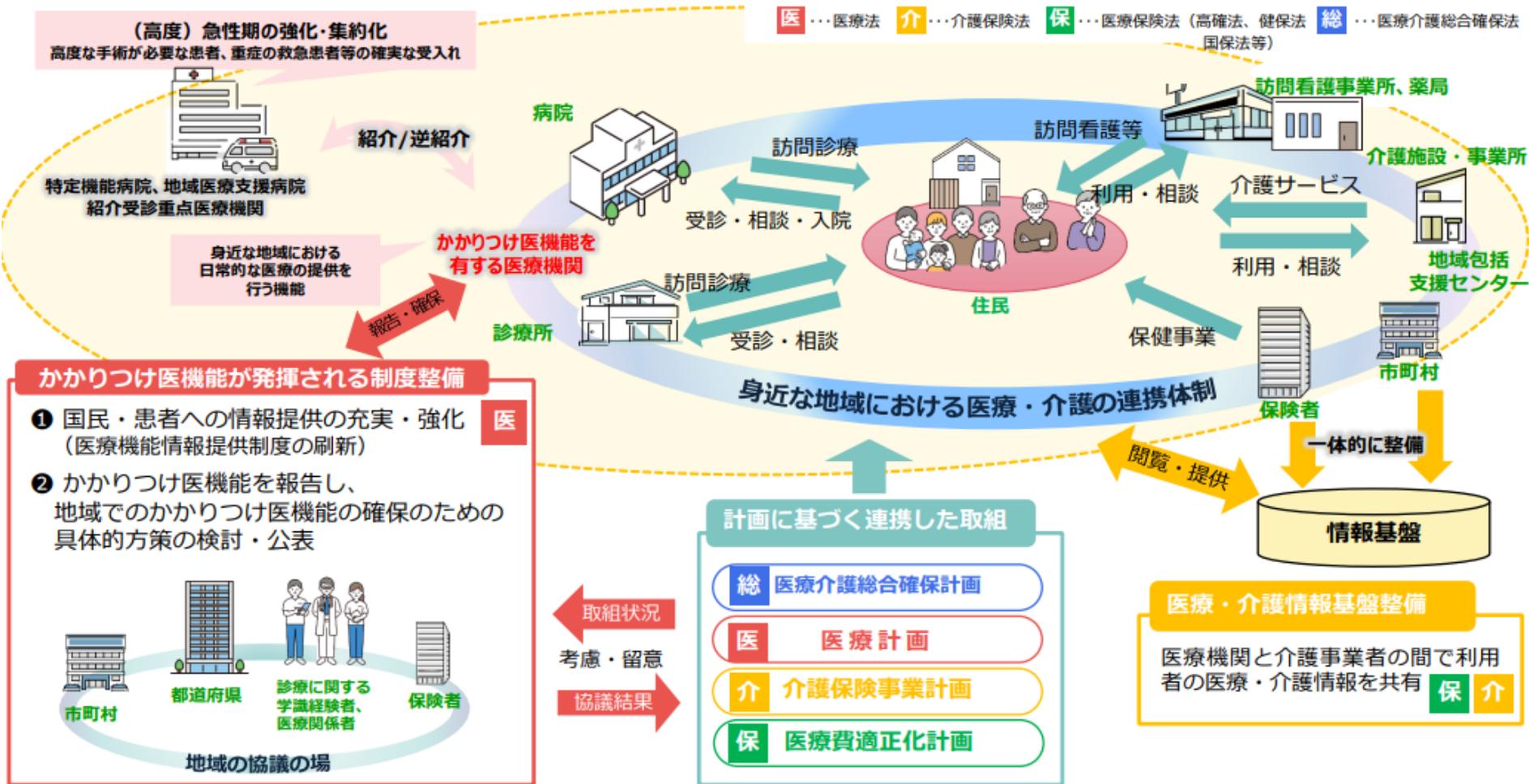
病床機能だけでなく、急性期医療の提供、高齢者救急の受け皿、在宅医療提供の拠点等、地域で求められる医療機関の役割も踏まえ医療提供体制を構築する。

##### 限られたマンパワーにおけるより効率的な医療提供の実現

医療DXや働き方改革の取組、地域の医療・介護の連携強化等を通じて、生産性を向上させ、持続可能な医療提供体制モデルを確立する。

※ 都道府県において、令和8年度（2026年度）に新たな地域医療構想を策定し、令和9年度（2027年度）から取組を開始することを想定

# 2040年に向けた医療提供体制のあり方



# 整理すべき医療機関の機能 | 新たな地域医療構想に向けて

## 病期およびアウトカム（私見）

### 疾病の予防管理

かかりつけ医を適切に受診し、疾病の発症・重症化が予防されている。

### 高度医療

高度で先進的かつ選択肢の豊富な医療を受けられ、寿命の延伸につながっている。

### 24時間救急

緊急性の高い疾病の治療を24時間365日受けられ、早期に社会復帰ができています。

### 包括期

急性増悪などを受け入れ、入院早期からの治療とケアが提供され、早期に在宅復帰ができています。

### 慢性期・看取り

病気になっても障害があっても、ニーズにあった治療を受け、できる限り住み慣れた地域で自分らしい生活を続けることができる。

## 病床／外来機能

### 入院

### 外来

かかりつけ  
医療機能

高度急性期  
↳  
急性期

急性期  
↳  
包括期

包括期  
↳  
慢性期・介護施設

重点外来

救急外来

在宅医療

医育及び  
広域診療機能

急性期拠点機能

高齢者救急  
・  
地域急性期機能

在宅医療等連携機能

専門機能  
(リハ)

慢性期  
・  
有床診  
専門機能

（一部の診療科特化）  
専門機能

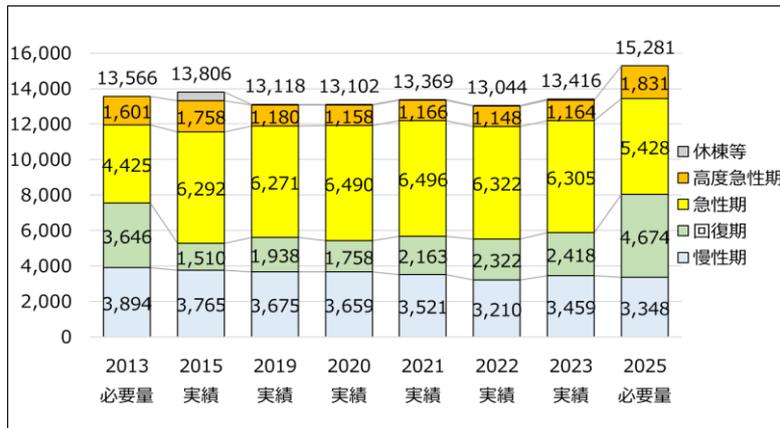
（一部の診療科特化）  
専門機能

## 医療機関機能

# 地域医療構想の必要病床数との乖離①

※2025年の必要病床数2013年時点のデータをもとに試算されているため、解釈には留意が必要。

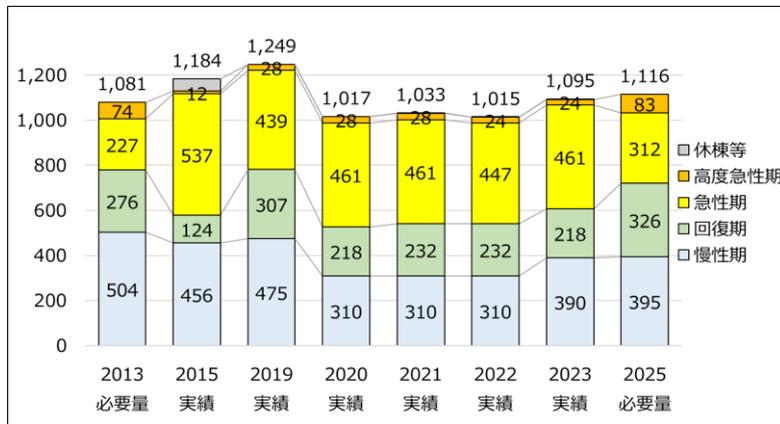
## 沖縄県全体



病床機能	2023 実績	2025 必要数	差
高度急性期	1,164	1,831	▲667
急性期	6,305	5,428	+877
回復期	2,418	4,674	▲2,256
慢性期	3,459	3,348	+111
合計	13,346	15,281	▲1,935
休棟等	70	-	-

- ✓ 沖縄県全体では2025年の必要病床数に対して**病床数は不足**している。
- ✓ **高度急性期と急性期の合計は必要病床数を上回っている**が、高度急性期が不足している。
- ✓ **回復期が大幅な不足**となっており、強化する必要がある。

## 北部医療圏



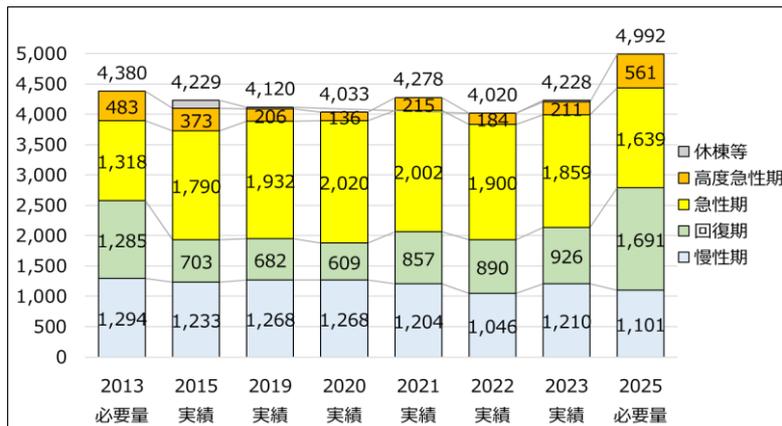
病床機能	2023 実績	2025 必要数	差
高度急性期	24	83	▲59
急性期	461	312	+149
回復期	218	326	▲108
慢性期	390	395	▲5
合計	1,093	1,116	▲23
休棟等	2	-	-

- ✓ 北部医療圏では2025年の必要病床数に対して2023年の病床数は同程度となっている。
- ✓ **急性期の病床数は必要病床数を上回っている**が、高度急性期と回復期の不足分と同程度の差となっている。

# 地域医療構想の必要病床数との乖離②

※2025年の必要病床数2013年時点のデータをもとに試算されているため、解釈には留意が必要。

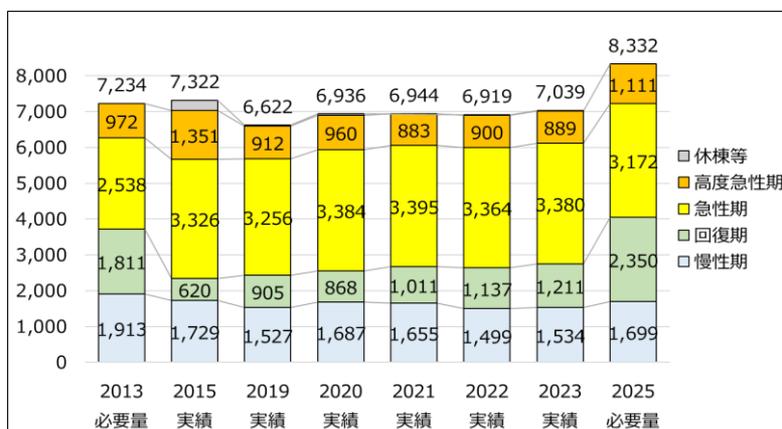
## 中部医療圏



病床機能	2023 実績	2025 必要数	差
高度急性期	211	561	▲350
急性期	1,859	1,639	+220
回復期	926	1,691	▲765
慢性期	1,210	1,101	+109
合計	4,206	4,992	▲786
休棟等	22	-	-

- ✓ 中部医療圏では2025年の必要病床数に対して**病床数は不足**している。
- ✓ **高度急性期が不足**しており、**急性期との合計においても不足**している。
- ✓ **回復期が大幅な不足**となっており、強化する必要がある。

## 南部医療圏



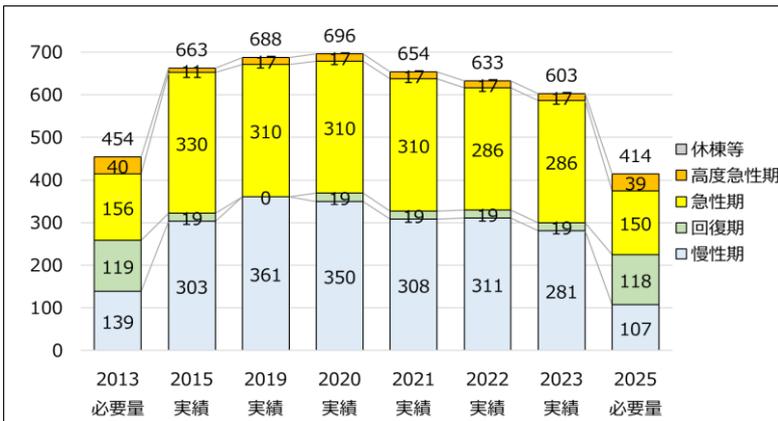
病床機能	2023 実績	2025 必要数	差
高度急性期	889	1,111	▲222
急性期	3,380	3,172	+208
回復期	1,211	2,350	▲1,139
慢性期	1,534	1,699	▲165
合計	7,014	8,332	▲1,318
休棟等	25	-	-

- ✓ 南部医療圏では2025年の必要病床数に対して**病床数は不足**している。
- ✓ **高度急性期が不足**しているが、急性期との合計においては必要病床数と同程度となっている。
- ✓ **回復期と慢性期の合計が大幅な不足**となっており、強化する必要がある。

# 地域医療構想の必要病床数との乖離③

※2025年の必要病床数2013年時点のデータをもとに試算されているため、解釈には留意が必要。

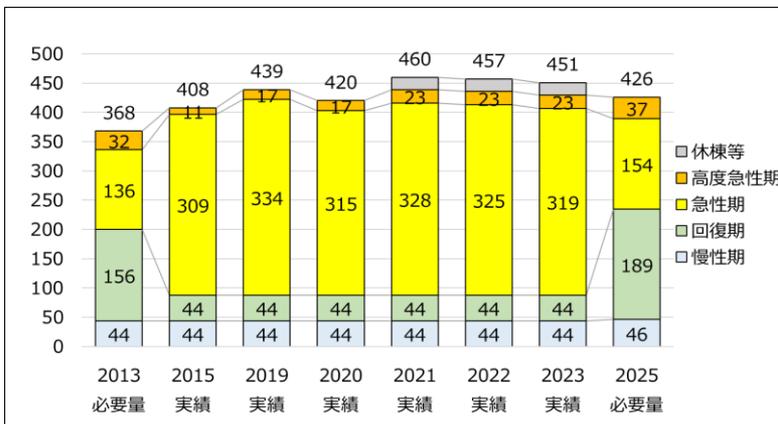
## 宮古医療圏



病床機能	2023 実績	2025 必要数	差
高度急性期	17	39	▲22
急性期	286	150	+136
回復期	19	118	▲99
慢性期	281	107	+174
合計	603	414	+189
休棟等	0	-	-

- ✓ 宮古医療圏では2025年の必要病床数より**現状の病床数が上回っている**。
- ✓ **高度急性期と急性期の合計は必要病床数を上回っている**。
- ✓ 回復期が大幅な不足となっているが、急性期病床との合計で見ると同程度の病床数となっている。
- ✓ **慢性期は必要病床数を大幅に上回っている**。

## 八重山医療圏



病床機能	2023 実績	2025 必要数	差
高度急性期	23	37	▲14
急性期	319	154	+165
回復期	44	189	▲145
慢性期	44	46	▲2
合計	430	426	+4
休棟等	21	-	-

- ✓ 八重山医療圏では2025年の必要病床数と同程度の病床数となっている。
- ✓ **高度急性期と急性期の合計は必要病床数を上回っている**。
- ✓ 回復期が大幅な不足となっているが、急性期病床との合計で見ると同程度の病床数となっている。

## 2. 救急ひっ迫からみる医療提供体制の課題

# 沖縄県の救急医療に問題はあるのか？

	沖縄県	全国
入電～病院収容までの 平均時間	<b>Good</b> 33.0分	47.2分
重症患者の 現場到着～現場出発 までの時間が30分以上 の割合	<b>Good</b> 2.5%	10.6%
一般市民が目撃した心 原性心肺機能停止傷病 者の1ヶ月後の生存率	<b>Good</b> 18.2%	11.1%

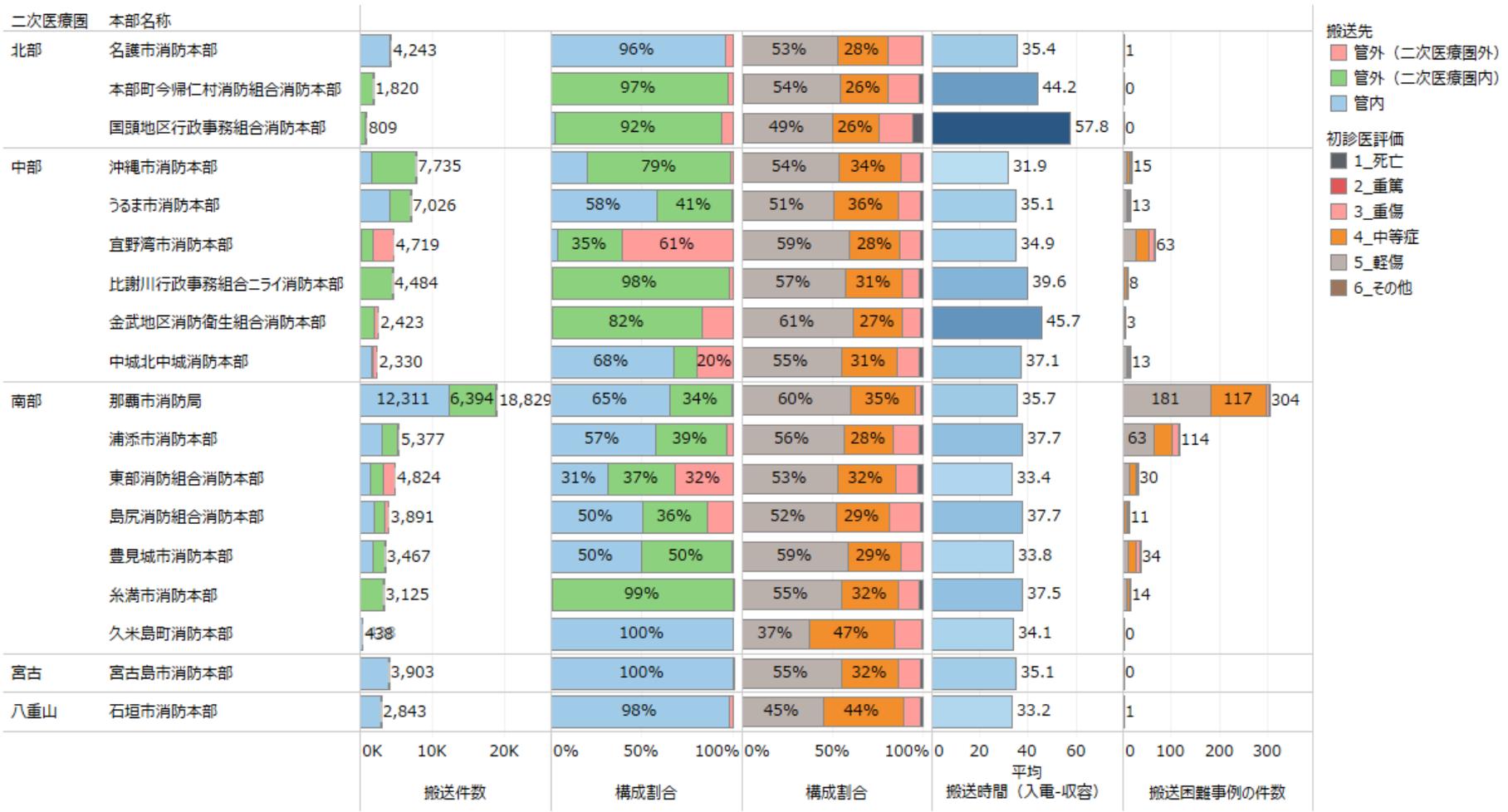
出典：令和4年中の救急業務における消防本部別実施状況  
令和4年中の救急搬送における医療機関の受入れ状況等実態調査の結果  
第8次沖縄県医療計画（令和6年3月）

# 沖縄県の救急医療に問題はあるのか？ | 消防本部別の状況

- ✓ 沖縄県は搬送時間が短い傾向にあり、搬送困難件数も少ない傾向にある。
- ✓ 管外搬送も多く見られるが、二次医療圏内で概ね完結している。

## 消防本部別の管内搬送状況

年度  
2023



搬送先  
■ 管外 (二次医療圏外)  
■ 管外 (二次医療圏内)  
■ 管内

初診医評価  
■ 1\_死亡  
■ 2\_重篤  
■ 3\_重傷  
■ 4\_中等症  
■ 5\_軽傷  
■ 6\_その他



# 沖縄の救急医療では何が課題なのか？ | 救急医療の分析サマリ

アウトカムベースでは深刻な課題ではないが供給面で見ると一部の医療機関への負担が大きく、持続可能性が高いとはいえない状態にある。

## 需要



## 供給

人口10万人あたりの救急搬送人員数は全国よりも**多い**

一部の医療機関に集中しているため、救急対応の**負担が大きい**

発生率

疾病構造、受療動向

医療機関数

一次救急、二次救急、三次救急、連携体制



全体の発生率は**高い**  
高齢者の発生率は**高い**  
軽症も重症も**高い**



告示病院が**少ない**  
三次救急は適切な範囲  
※救急専門医は**多い**

人口

人口、高齢化率、

1医療機関あたりの受入件数

一部の医療機関への集中 or 分散

高齢化率が**低い**  
高齢者は**今後増加**  
後期高齢者も**今後増加**

一部の医療機関に**集中**  
ワークインを含めると、**全国トップレベルの受入件数**

# 人口10万人あたり搬送件数 | 選定療養費の導入地域との比較

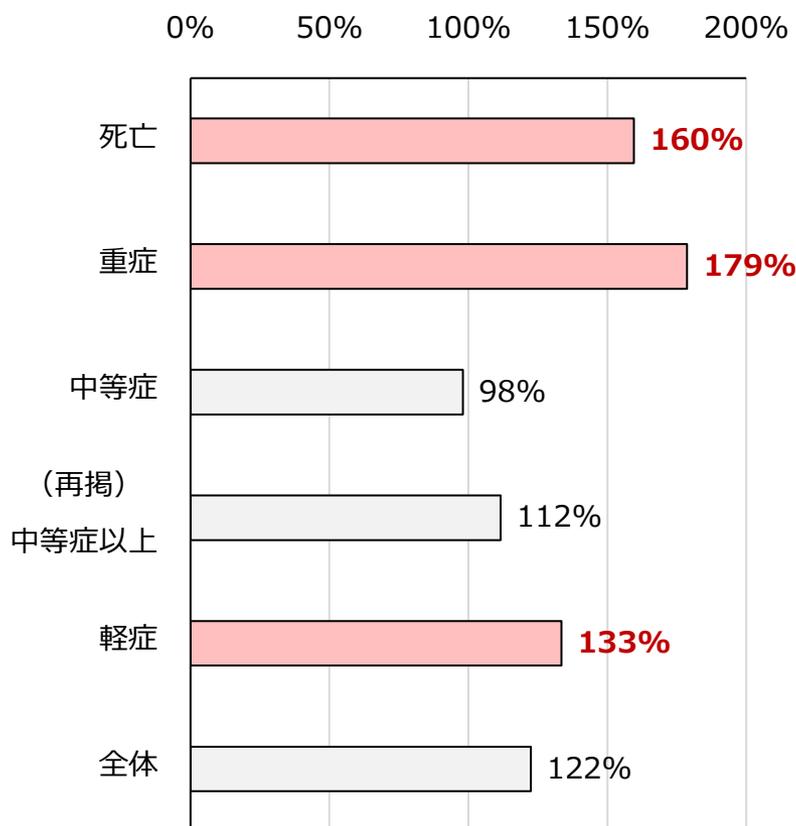
地域課題によって選定療養費の導入の可否が分かれるが、沖縄県は人口10万人あたり搬送件数は全国を上回るものの、導入地域と比較すると危機的な状況ではなく、現在は対応できる範囲といえる。

都道府県	本部名称	搬送人員（件）	人口（人）	人口10万人あたり搬送人員数（件）
沖縄県	沖縄県全体	78,196	1,467,480	<b>5,329</b>
沖縄県	中部医療圏	26,867	518,742	5,179
沖縄県	南部医療圏	38,486	740,743	5,196
三重県	松阪地区広域消防組合消防本部 (基幹病院への選定療養費の徴収あり)	14,974	195,611	<b>7,655</b>
茨城県	茨城県全体 (基幹病院への選定療養費の徴収あり)	131,739	2,867,009	4,595
全国		6,217,283	124,947,000	4,976

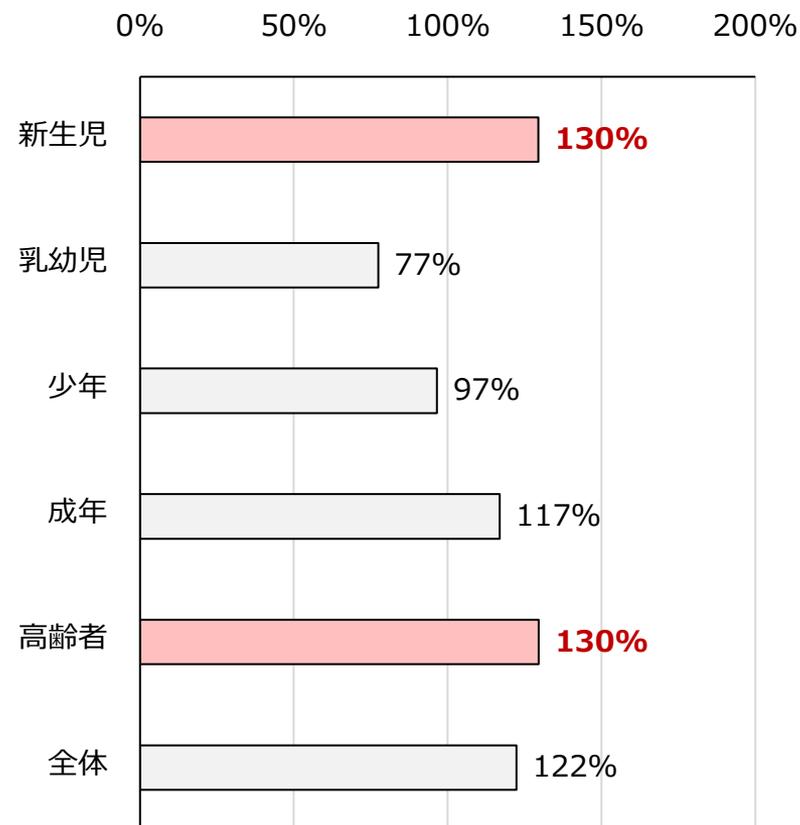
# 需要－発生率 | 沖縄県の救急搬送は多いか？

沖縄県の救急搬送の発生率は高く、今後の高齢化に伴い、大幅な需要増加が見込まれる。軽症者の増加にともない、受入医療機関の負担は増加し、重症者の対応が困難となるリスクも考えられる。

傷病程度別の発生率の全国比較



年齢区分別の発生率の全国比較



死亡とは、初診時において死亡が確認されたもの。  
重症とは、傷病程度が3週間の入院課長を必要とするもの以上をいう。  
中等症とは、傷病程度が重症または軽症以外のものをいう。

# 沖縄県内の医療機関の受け入れ状況

○ 実数

単位：件

	人口	1次救急※					救急搬送受入件数		
		件数	在宅当番医制	休日夜間急患センター	2次救急医療施設	3次救急医療施設	件数	2次救急医療施設	3次救急医療施設
北部	100,751	33,055	0	0	26,532	6,523	9,315	5,383	3,932
中部	518,742	64,192	0	0	43,726	20,466	22,782	16,249	6,533
南部	740,743	94,085	0	0	71,845	22,240	29,357	25,783	3,574
宮古	53,989	17,095	0	0	17,095	0	2,891	2,891	0
八重山	53,255	18,253	0	0	18,253	0	288	288	0
県合計	1,467,480	226,680	0	0	177,451	49,229	64,633	50,594	14,039

**沖縄県は初期救急を二次救急、または、三次救急医療施設が対応している。**

○ 人口10万人対

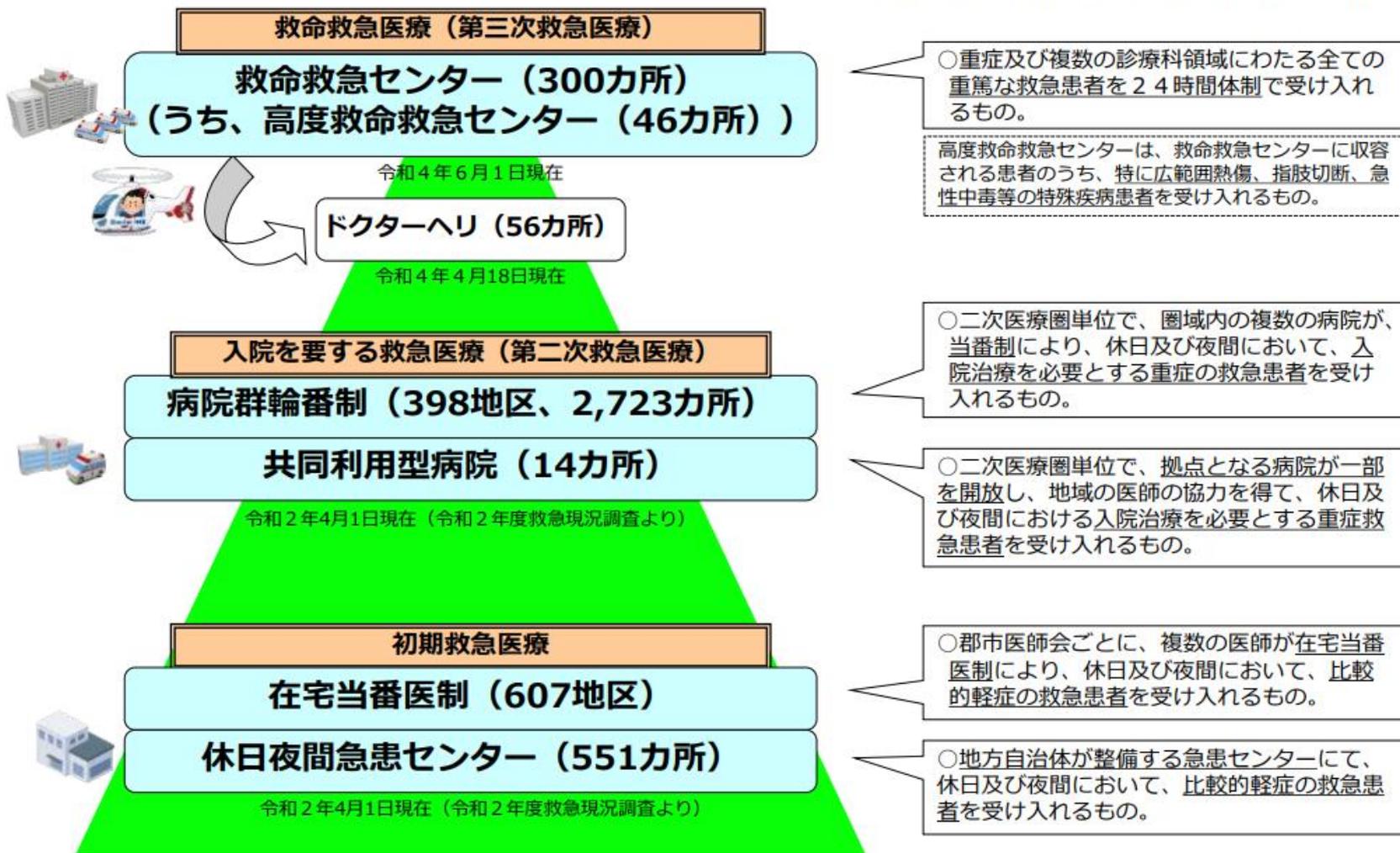
	人口	1次救急※					救急搬送受入件数		
		件数	在宅当番医制	休日夜間急患センター	2次救急医療施設	3次救急医療施設	件数	2次救急医療施設	3次救急医療施設
北部	100,751	32,809	0	0	26,334	6,474	9,246	5,343	3,903
中部	518,742	12,375	0	0	8,429	3,945	4,392	3,132	1,259
南部	740,743	12,701	0	0	9,699	3,002	3,963	3,481	482
宮古	53,989	31,664	0	0	31,664	0	5,355	5,355	0
八重山	53,255	34,275	0	0	34,275	0	541	541	0
県合計	1,467,480	15,447	0	0	12,092	3,355	4,404	3,448	957

※2次救急医療施設および3次救急医療施設は「ウォークイン（独歩、自家用車、民間救急車等）の受入」の件数

# 救急医療体制体系図

第11回第8次医療計画  
等に関する検討会  
令和4年7月27日  
資料 1

(疾病・事業及び在宅医療に係る医療体制について(令和2年4月13日付医政指発0331第3号)抜粋)  
(救急医療対策事業実施要綱(平成31年4月18日付一部改正医政発0418第16号)抜粋)



# 沖縄県内の医療機関の受け入れ状況 | 医療機関別の受入状況

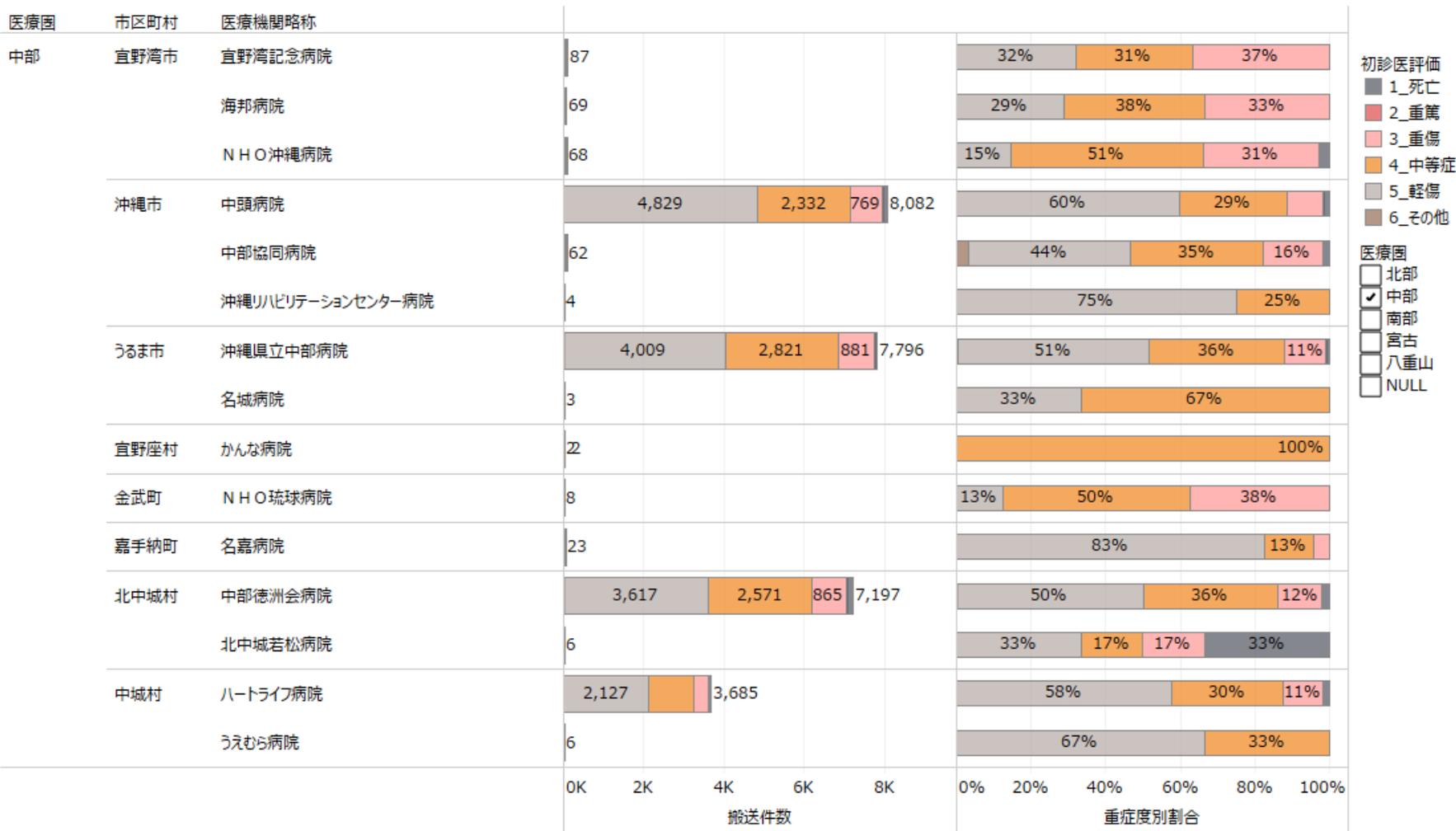
✓ 一部の医療機関に集中していることもあり、医療機関別にみた救急搬送も多いが、全国の医療機関と比較してウォークインも多いことが特徴的であり、負担が大きい要因と考えられる。

No.	区分	医療圏	医療機関名	許可病床数	医師数 (常勤のみ) (人)	救急担当 専任医師 数(人)	救急科専 門医数 (人)	救急患者受入人数		うち、ウォークイン		うち、救急車等の受入	
								件数	全国順位	件数	全国順位	件数	全国順位
1	救命救急	中部	沖縄県立中部病院	559	121	7	7	26,999	22	20,466	22	6,533	98
2	二次救急	中部	社会医療法人敬愛会中頭病院	355	158	5	6	26,742	23	19,833	24	6,909	80
3	救命救急	南部	南部医療センター・子ども医療センター救命救急センター	434	162	11	8	26,466	25	22,240	17	3,574	384
4	二次救急	北部	沖縄県立北部病院	327	54	4	2	24,801	28	21,906	19	2,895	532
5	二次救急	中部	中部徳洲会病院	368	102	11	9	23,056	39	17,282	36	5,774	142
6	二次救急	宮古	県立宮古病院	277	47	3	2	18,230	82	16,027	46	2,196	737
7	二次救急	南部	沖縄協同病院	280	74	1	3	17,980	85	13,715	72	4,265	290
8	二次救急	八重山	県立八重山病院	302	53	2	1	16,823	105	16,751	41	72	2,877
9	二次救急	南部	地方独立行政法人那覇市立病院	470	133	3	6	16,527	108	12,057	101	4,470	261
10	二次救急	南部	南部徳洲会病院	345	64			13,945	177	9,073	172	4,431	270
11	二次救急	南部	友愛医療センター	378	161	2	4	12,746	211	7,875	243	4,871	211
12	二次救急	南部	大浜第一病院	214	63	2	4	11,414	279	8,551	207	2,863	539
13	救命救急	南部	社会医療法人仁愛会 浦添総合病院	334	131	13	5	10,455	328	6,523	323	3,932	328
14	二次救急	中部	社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院	308	90	2	1	9,706	376	6,209	353	3,497	398
15	二次救急	南部	沖縄赤十字病院	302	80	0	1	8,424	451	6,139	357	2,285	706
16	二次救急	北部	公益社団法人北部地区医師会 北部地区医師会病院	236	41	2	2	7,114	579	4,626	512	2,488	638
17	二次救急	南部	琉球大学病院	600	192	8	8	6,227	678	4,694	503	1,533	970
18	二次救急	南部	豊見城中央病院	188	26	1	0	3,634	1,066	3,565	682	69	2,887
19	二次救急	南部	牧港中央病院	99	13	0	0	2,274	1,385	2,100	1,018	302	2,146
20	二次救急	宮古	宮古島徳洲会病院	99	11	6	0	1,814	1,543	1,068	1,527	695	1,518
21	二次救急	南部	与那原中央病院	170	15	9	0	1,802	1,553	1,619	1,199	183	2,447
22	二次救急	南部	公立久米島病院	40	5	1	0	1,798	1,556	1,510	1,240	288	2,177
23	二次救急	八重山	医療法人徳洲会 石垣島徳洲会病院	62	4	0	0	1,718	1,596	1,502	1,244	216	2,349
24	二次救急	南部	医療法人祥杏会おもろまちメディカルセンター	154	14	0	0	1,104	1,942	927	1,620	177	2,470
25	二次救急	中部	宜野湾記念病院	135	10	0	0	471	2,532	402	2,216	69	2,887
26	二次救急	南部	医療法人信和会沖縄第一病院	154	21	0	0	66	3,182	20	3,070	46	2,985

# 医療機関の受入れ状況①医療機関別の搬送件数：中部

年度  
2023

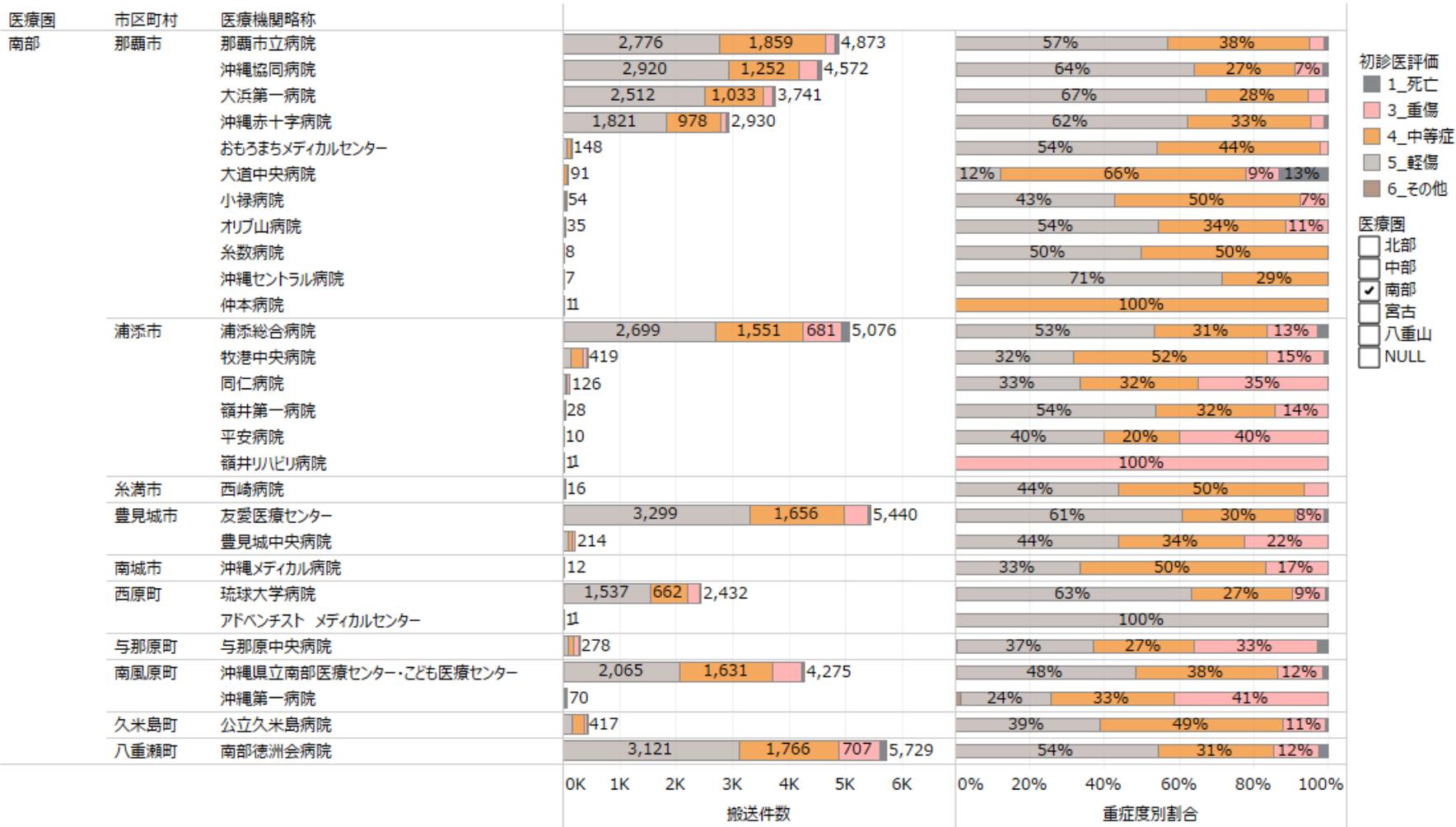
## 医療機関ごとの受け入れ状況



# 医療機関の受入れ状況①医療機関別の搬送件数：南部

年度  
2023

## 医療機関ごとの受け入れ状況



- 初診医評価
- 1\_死亡
  - 3\_重傷
  - 4\_中等症
  - 5\_軽傷
  - 6\_その他
- 医療圏
- 北部
  - 中部
  - 南部
  - 宮古
  - 八重山
  - NULL

# 医療機関の受入れ状況①医療機関別の搬送件数：北部・宮古・八重山

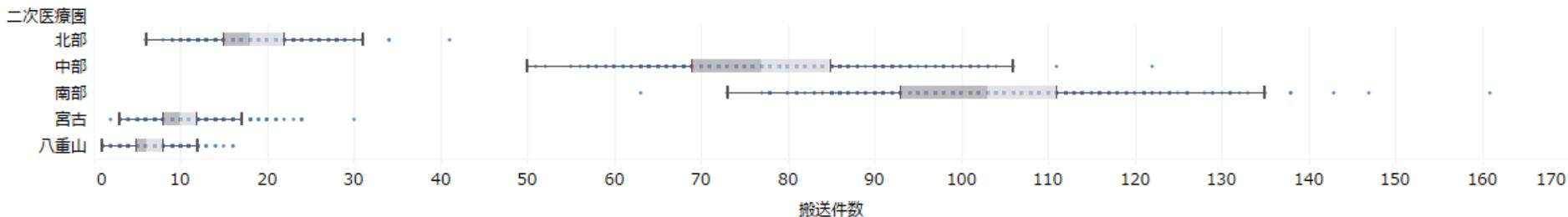
年度  
2023

## 医療機関ごとの受け入れ状況

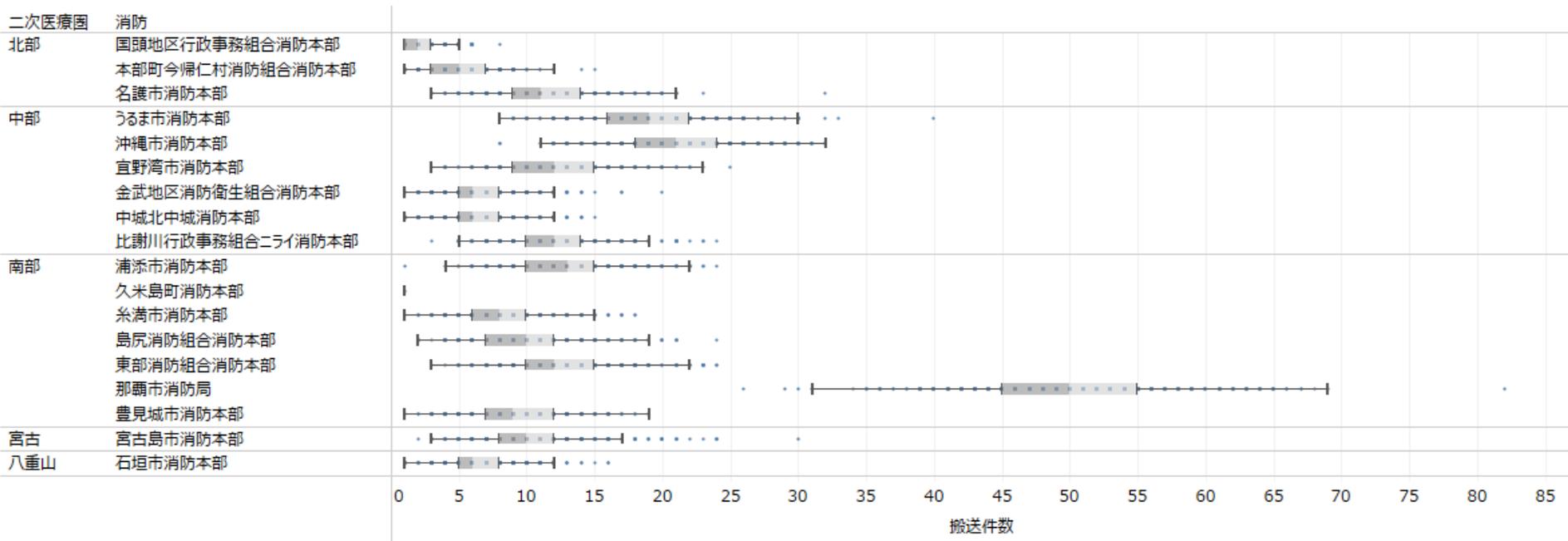


# 医療機関の受入れ状況②地域別の1日の搬送件数

## 二次医療圏別の1日の受入件数

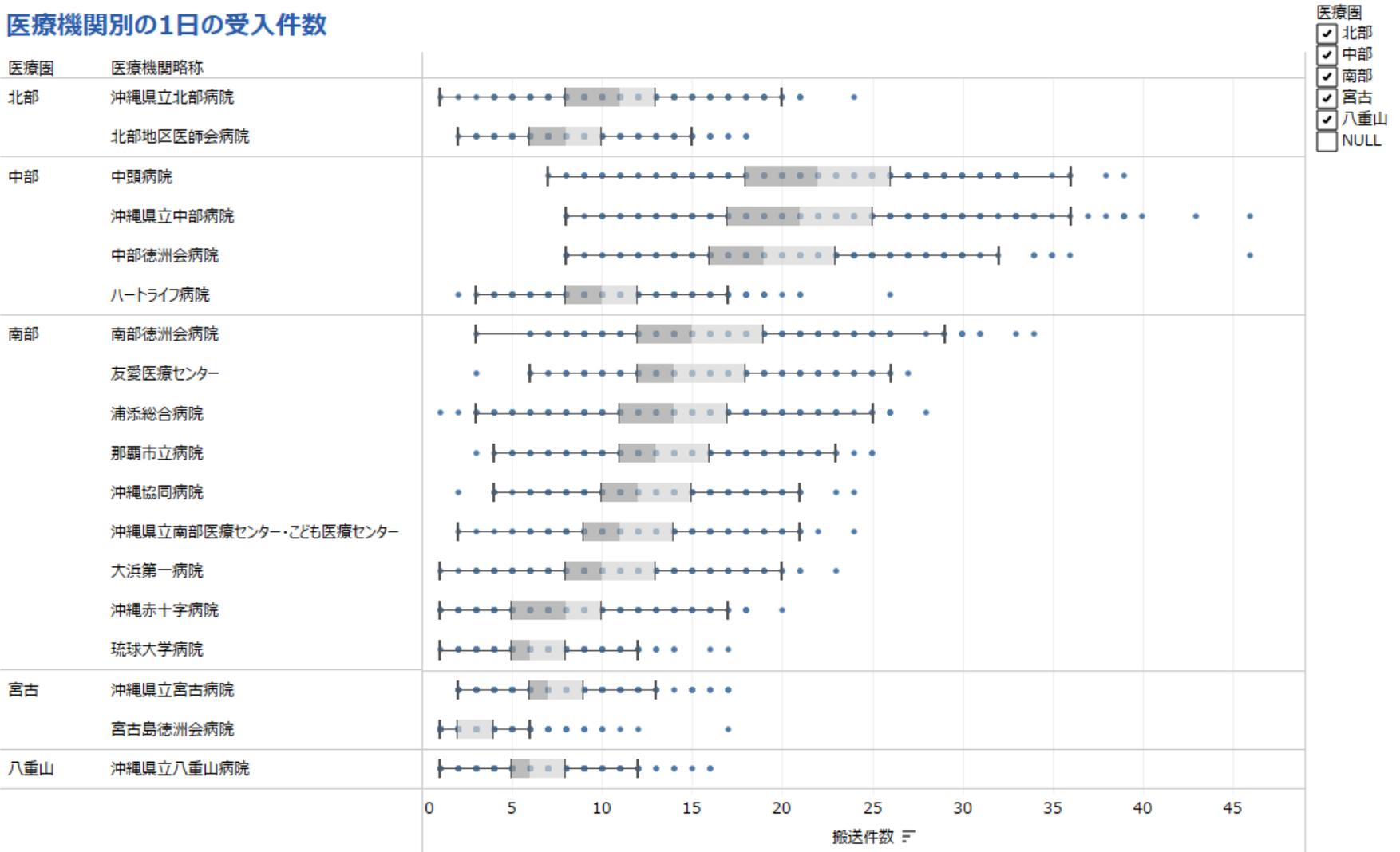


## 消防本部別の1日の受入件数



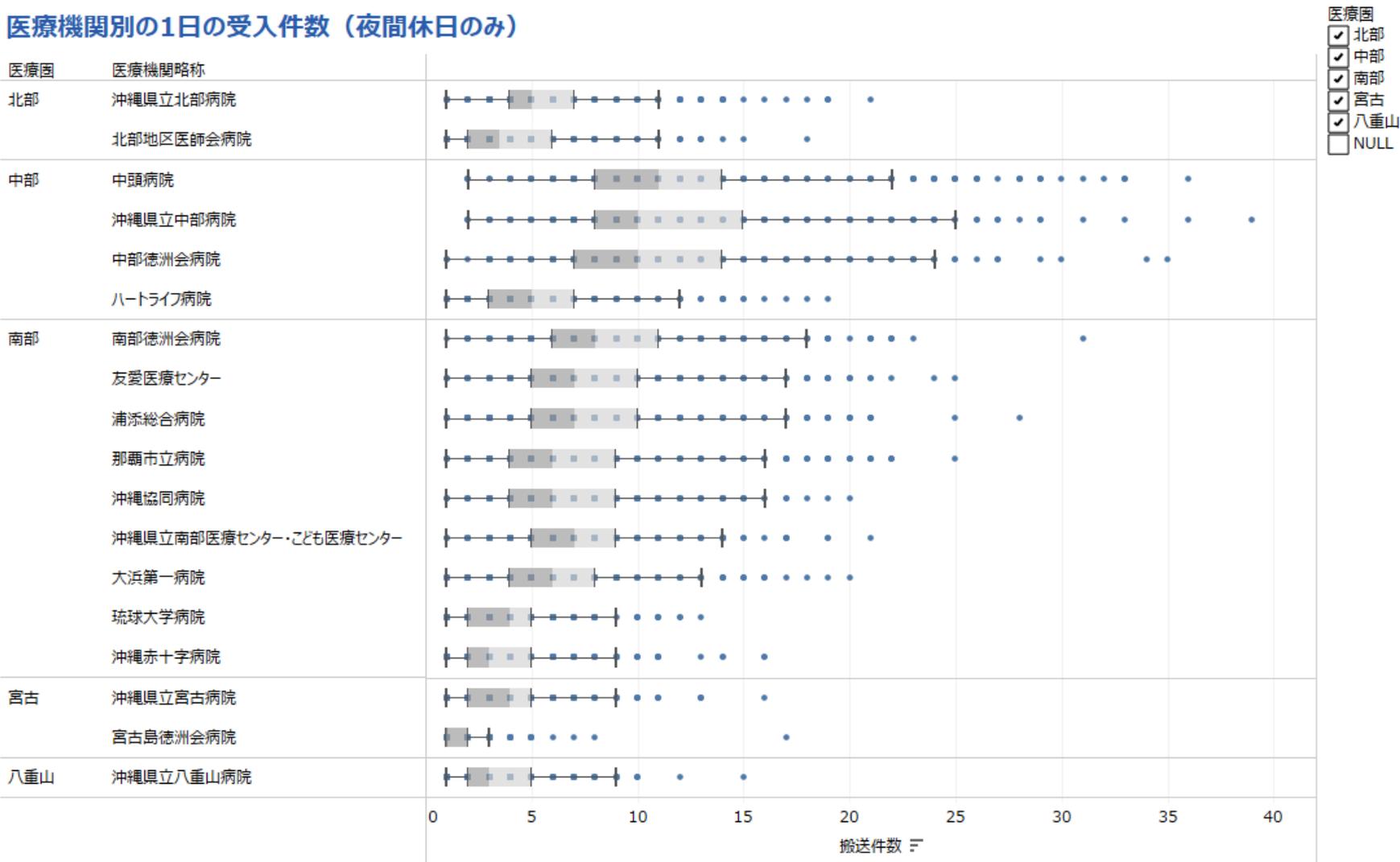
# 医療機関の受入れ状況③1日の受入件数（年間1,000台以上のみ）

## 医療機関別の1日の受入件数

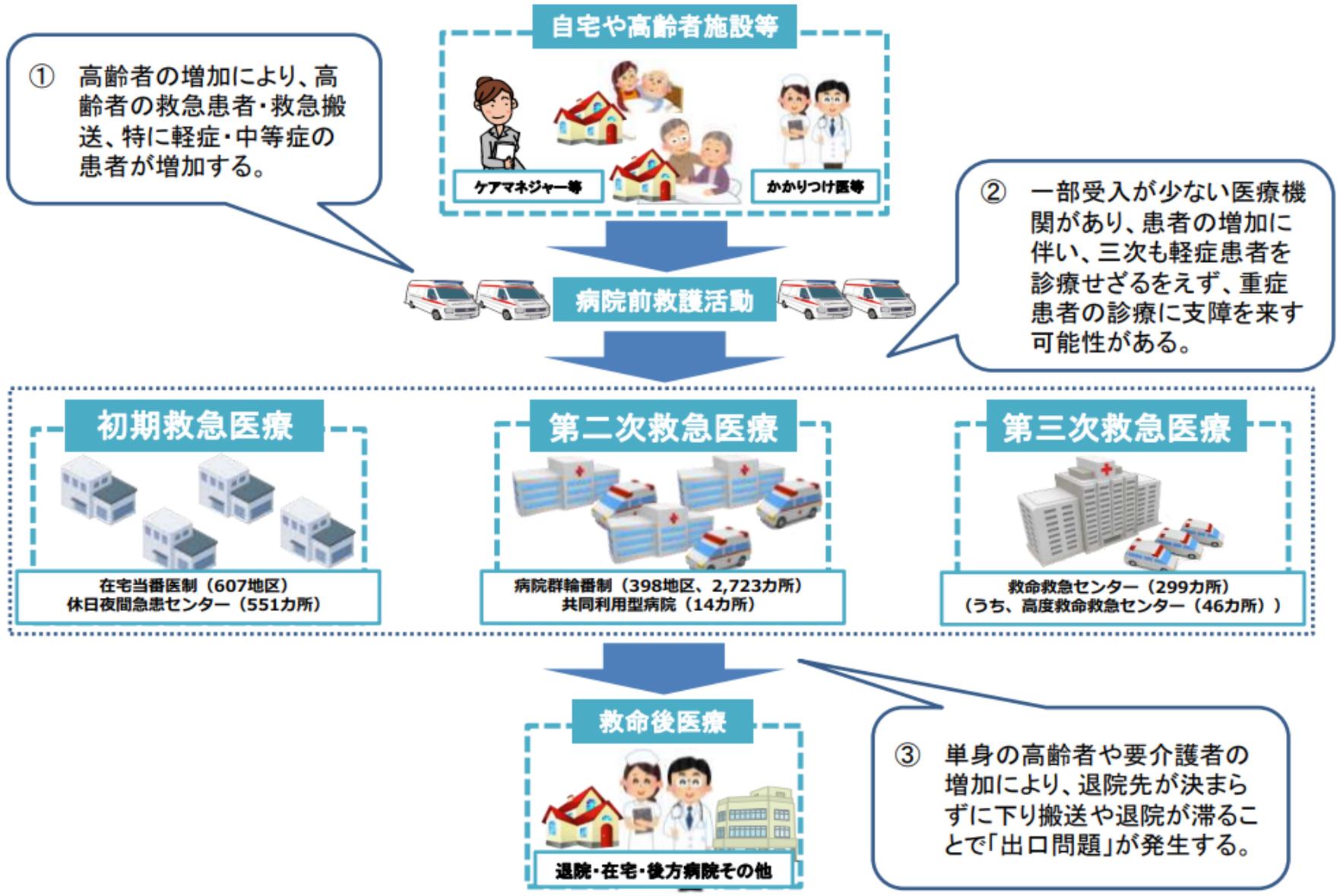


# 医療機関の受入れ状況④1日の受入件数（年間1,000台以上のみ）

## 医療機関別の1日の受入件数（夜間休日のみ）



# 沖縄県の救急医療の課題



### 3. 課題解決の論点①救急医療の役割分担

# 沖縄県の救急医療の課題



# 医療機関機能からみる救急の役割

## 病期およびアウトカム（私見）

### 疾病の予防管理

かかりつけ医を適切に受診し、疾病の発症・重症化が予防されている。

### 高度医療

高度で先進的かつ選択肢の豊富な医療を受けられ、寿命の延伸につながっている。

### 24時間救急

緊急性の高い疾病の治療を24時間365日受けられ、早期に社会復帰ができています。

### 包括期

急性増悪などを受け入れ、入院早期からの治療とケアが提供され、早期に在宅復帰ができています。

### 慢性期・看取り

病気になっても障害があっても、ニーズにあった治療を受け、できる限り住み慣れた地域で自分らしい生活を続けることができる。

## 病床／外来機能

### 入院

### 外来

かかりつけ  
医療機能

高度急性期  
↳  
急性期

重点外来

急性期  
↳  
包括期

救急外来

包括期  
↳  
慢性期・介護施設

在宅医療

## 医療機関機能

医育及び  
広域診療機能

急性期拠点機能

高齢者救急  
・  
地域急性期機能

在宅医療等連携機能

専門機能  
(リハ)

慢性期  
・  
有床診  
専門機能

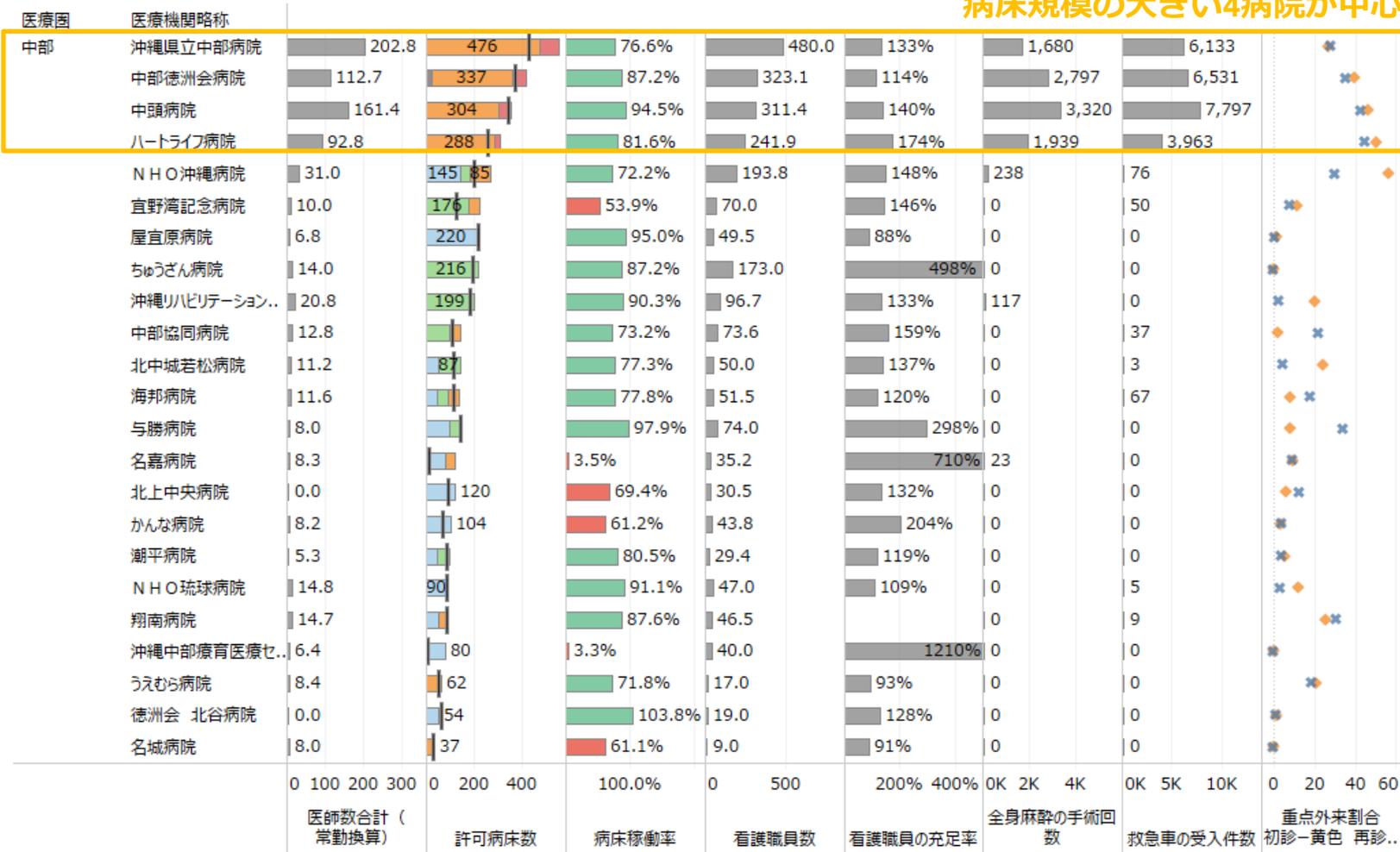
（一部の診療科特化）  
専門機能

（一部の診療科特化）  
専門機能

# 医療機関機能と主な実績：中部医療圏

## 医療機関別の実績

救急車の受入件数は  
病床規模の大きい4病院が中心



- 医療圏
- NULL
  - 北部
  - 中部
  - 南部
  - 宮古
  - 八重山

- 001A 各年7月1日時点の..
- 1\_高度急性期
  - 2\_急性期
  - 3\_回復期
  - 4\_慢性期
  - 6\_廃止予定
- 001A 各年7月1日時点の..
- 9\_不明
  - 1\_高度急性期
  - 2\_急性期
  - 3\_回復期
  - 4\_慢性期
  - 5\_休棟予定
  - 6\_廃止予定

# 医療機関機能と主な実績：中部医療圏 5疾病6事業等

## 5疾病6事業等の対応状況

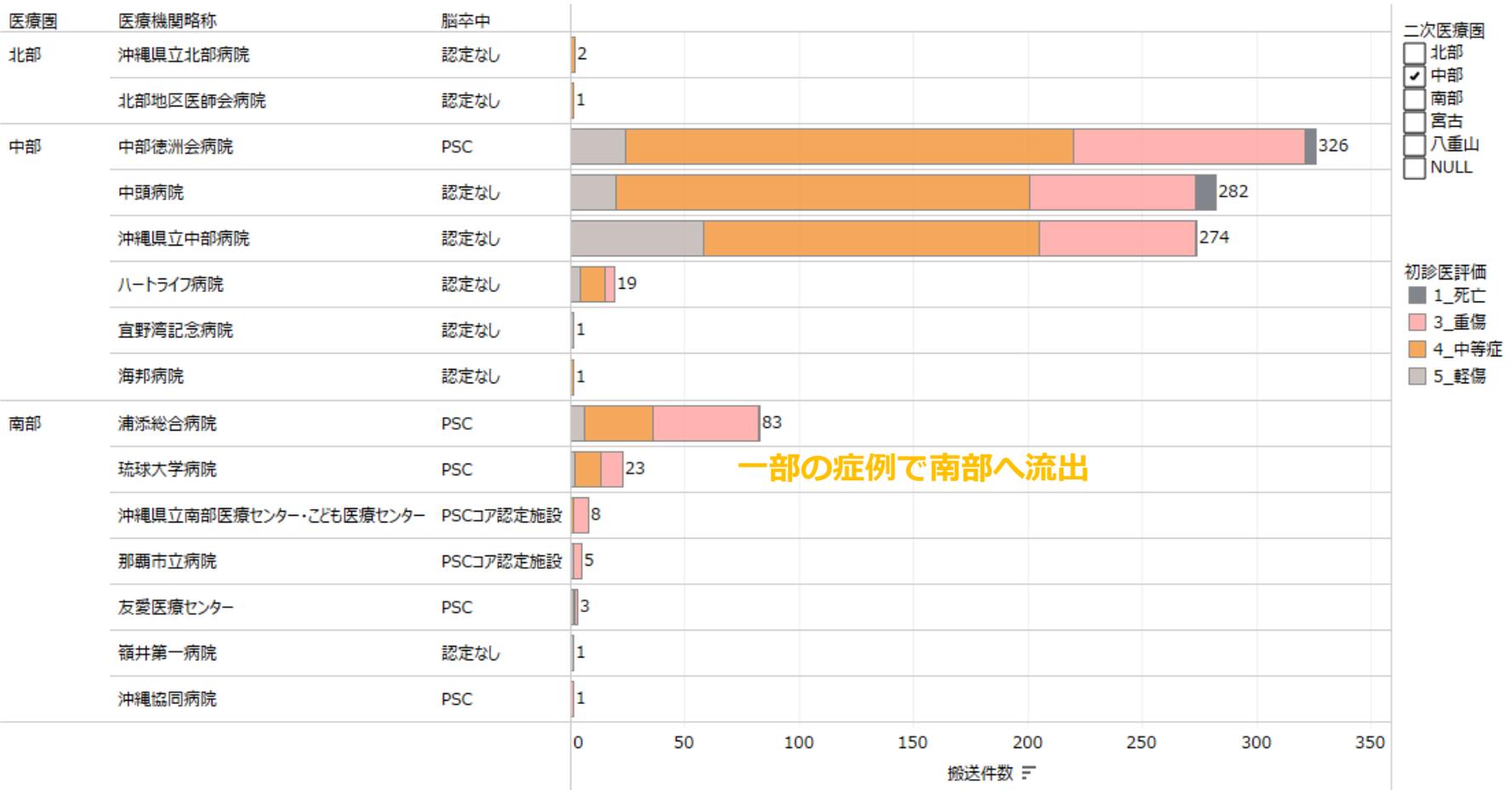
脳外科医が少ない医療圏だが、  
症例の分散は狙い通りなのか？

- 医療圏
- NULL
  - 北部
  - 中部
  - 南部
  - 宮古
  - 八重山

医療圏	医療機関略称	医師数合計 (常勤換算)	①悪性腫瘍手術算定回数	④放射線治療レセ件数	外来化学療法	⑩t-Pa投与レセ件数	⑪脳血管内手術算定回数	⑫経皮的冠動脈形成術算定回数	⑬ハイリスク分娩管理加算算定回数	小児入院医療管理料レセ件数														
中部	沖縄県立中部病院	202.8	233	190	779	7	2	163	2,073	694														
	中頭病院	161.4	582	124	114	2	0	323	344	581														
	中部徳洲会病院	112.7	483	0	170	16	63	419	0	190														
	ハートライフ病院	92.8	223	12	103	3	3	116	375	429														
	NHO沖縄病院	31.0	111	0	8	0	0	0	0	0														
	沖縄リハビリテーションセンター病院	20.8	0	0	0	0	0	0	0	0														
	NHO琉球病院	14.8	0	0	0	0	0	0	0	0														
	翔南病院	14.7	0	0	0	0	0	22	0	0														
	ちゅうざん病院	14.0	0	0	0	0	0	0	0	0														
	中部協同病院	12.8	0	0	0	0	0	0	0	0														
	海邦病院	11.6	0	0	0	0	0	0	0	0														
	北中城若松病院	11.2	0	0	0	0	0	0	0	0														
	宜野湾記念病院	10.0	0	0	0	0	0	0	0	0														
	うえむら病院	8.4	0	0	0	0	0	0	0	0														
	名嘉病院	8.3	0	0	0	0	0	0	0	0														
	かんな病院	8.2	0	0	0	0	0	0	0	0														
	与勝病院	8.0	0	0	0	0	0	0	0	0														
	名城病院	8.0	0	0	0	0	0	0	0	0														
	屋宜原病院	6.8	0	0	0	0	0	0	0	0														
	沖縄中部療育医療センター	6.4	0	0	0	0	0	0	0	0														
	潮平病院	5.3	0	0	0	0	0	0	0	0														
	北上中央病院	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0														
	徳洲会 北谷病院	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0														
		0	200	400	0	500	0	100	200	0.5K	1K	0	10	20	0	50	0	500	1K	2K	3K	0K	0.5K	1K
			172	177	237	238	246	272																
		医師数合計 (常勤換算)	①悪性腫瘍手術算定回数	④放射線治療レセ件数	外来化学療法	⑩t-Pa投与レセ件数	⑪脳血管内手術算定回数	⑫経皮的冠動脈形成術算定回数	⑬ハイリスク分娩管理加算算定回数	小児入院医療管理料レセ件数														

# 参考 | 脳疾患の搬送受入状況：中部医療圏の消防管轄

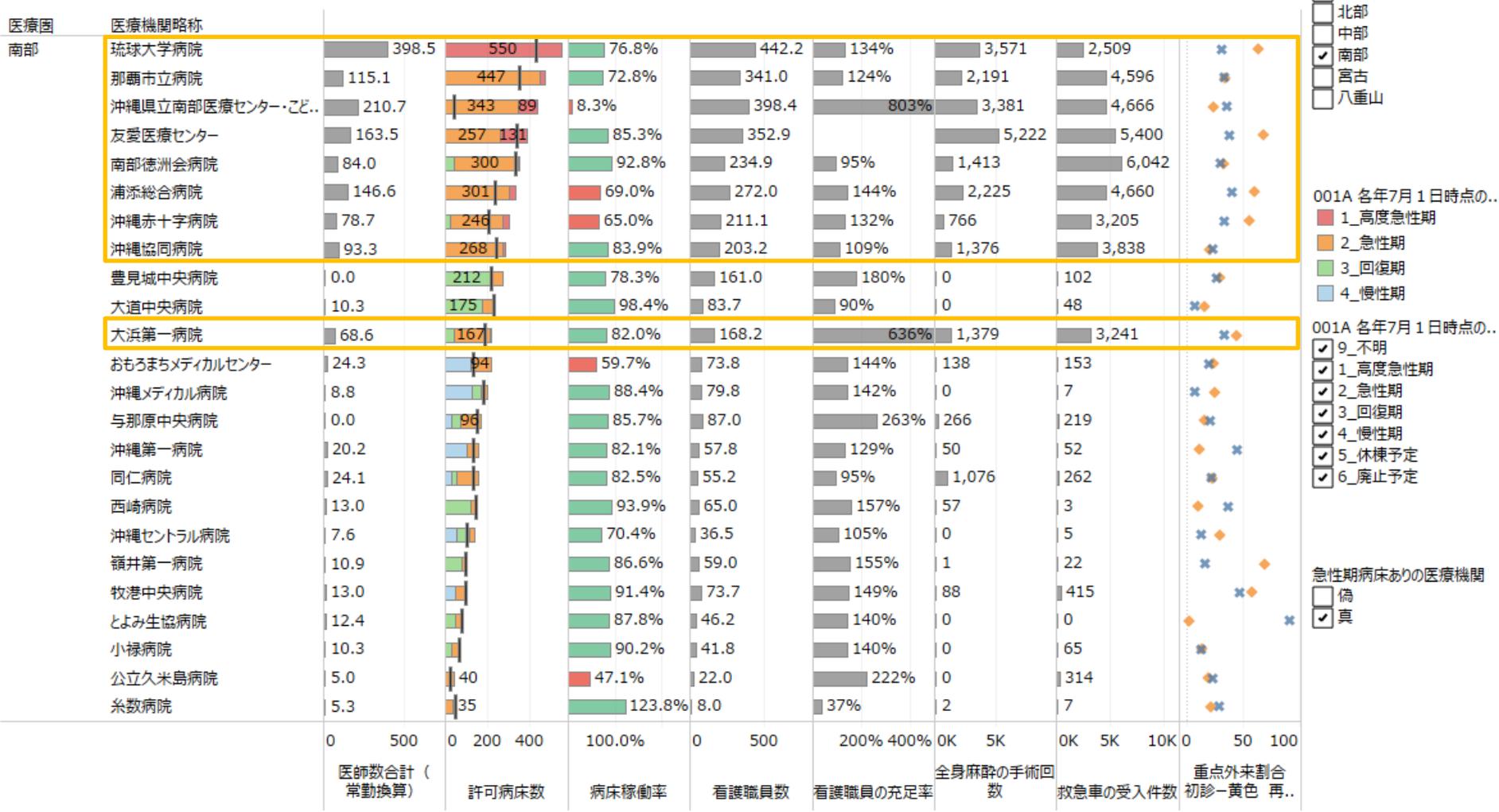
## 脳卒中の受入先



一部の症例で南部へ流出

# 医療機関機能と主な実績：南部医療圏（高度急性期・急性期の病床をもつ医療機関）

## 医療機関別の実績



医療圏

- NULL
- 北部
- 中部
- 南部
- 宮古
- 八重山

001A 各年7月1日時点の..

- 1\_高度急性期
- 2\_急性期
- 3\_回復期
- 4\_慢性期

001A 各年7月1日時点の..

- 9\_不明
- 1\_高度急性期
- 2\_急性期
- 3\_回復期
- 4\_慢性期
- 5\_休棟予定
- 6\_廃止予定

急性期病床ありの医療機関

- 偽
- 真

# 医療機関機能と主な実績：南部医療圏 5疾病6事業等 (高度急性期・急性期の病床をもつ医療機関)

## 5疾病6事業等の対応状況

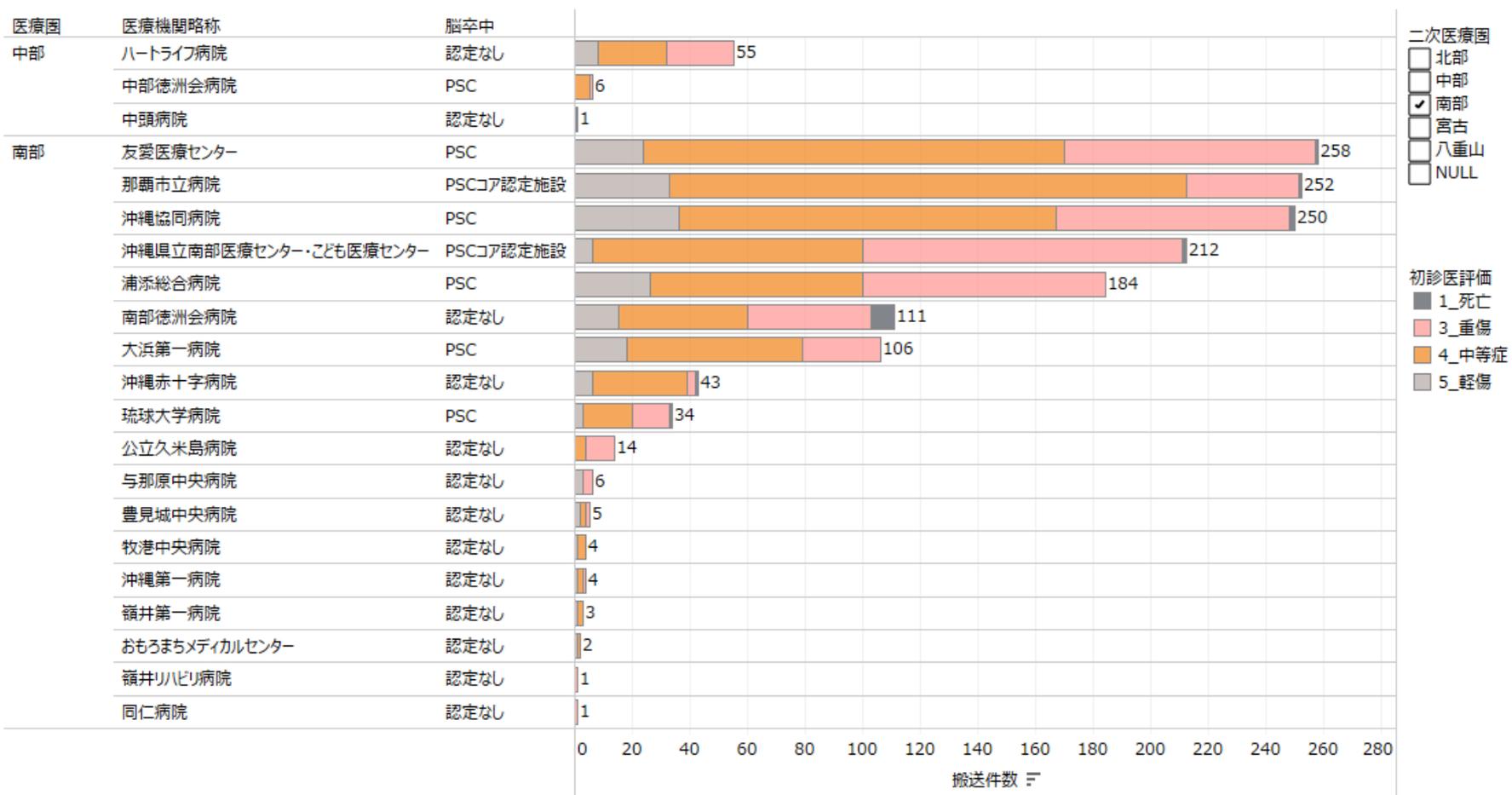
### 脳血管、心疾患、周産期の分散は妥当か？

- 医療圏
- NULL
  - 北部
  - 中部
  - 南部
  - 宮古
  - 八重山

医療圏	医療機関略称	398.5	701	866	639	1	1	82	329	198	646			
南部	琉球大学病院	398.5	701	866	639	1	1	82	329	198	646			
	沖縄県立南部医療センター・こども医...	210.7	131	130	343	6	136	138	476	662	2,584			
	友愛医療センター	163.5	499	118	664	15	88	279	491	343	453			
	浦添総合病院	146.6	326	8	301	14	29	317	0	0	0			
	那覇市立病院	115.1	466	127	693	4	40	71	252	487	1,616			
	沖縄協同病院	93.3	191	0	35	17	30	111	184	106	999			
	南部徳洲会病院	84.0	192	273	30	0	0	61	133	0	0			
	沖縄赤十字病院	78.7	115	72	2	2	0	114	321	506	25			
	大浜第一病院	68.6	29	0	47	2	25	244	0	0	0			
	おもろまちメディカルセンター	24.3	25	0	40	0	0	0	0	0	0			
	同仁病院	24.1	97	0	189	0	0	0	0	0	0			
	沖縄第一病院	20.2	4	0	0	1	0	0	0	0	0			
	牧港中央病院	13.0	0	0	0	0	0	208	0	0	0			
	西崎病院	13.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	とよみ生協病院	12.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	額井第一病院	10.9	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	大道中央病院	10.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	小禄病院	10.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	沖縄メディカル病院	8.8	1	0	0	0	0	0	0	0	0			
	沖縄セントラル病院	7.6	0	4	0	0	0	0	0	0	0			
	糸数病院	5.3	0	0	0	0	0	0	985	273	0			
	公立久米島病院	5.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	与那原中央病院	0.0	13	0	0	0	0	0	0	0	0			
	豊見城中央病院	0.0	26	0	0	0	0	0	0	0	0			
		0	500	0.5K 1K	0.5K 1K	0	10 20	0	100 200	0	200 400	0K 1K	0.5K 1K	2K 4K
	医師数合計 (常勤換算)		172 ①悪性腫瘍手術算定回数	177 ④放射線治療レセ件数	外来化学療法	237 ②t-Pa投与レセ件数	238 ③脳血管内手術算定回数	246 ⑤経皮的冠動脈形成術算定回数	075 分娩件数 (正常分娩、帝王切開を含む、死産を除く)	272 ①ハイリスク分娩管理加算算定回数	小児入院医療管理料レセ件数			

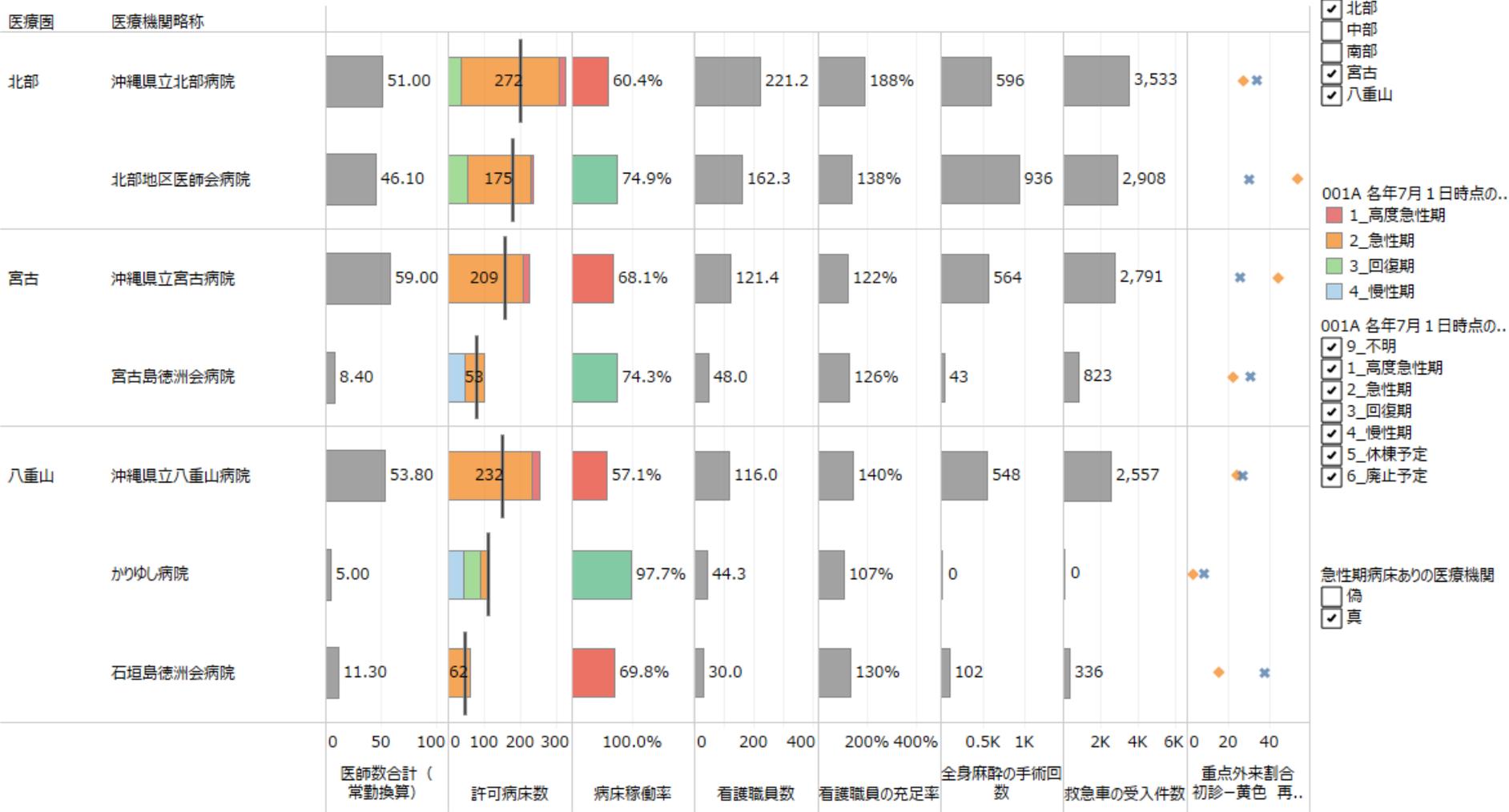
# 参考 | 脳疾患の搬送受入状況：南部医療圏の消防管轄

## 脳卒中の受入先



# 医療機関機能と主な実績：北部・宮古・八重山

## 医療機関別の実績



- 医療圏
- NULL
  - 北部
  - 中部
  - 南部
  - 宮古
  - 八重山

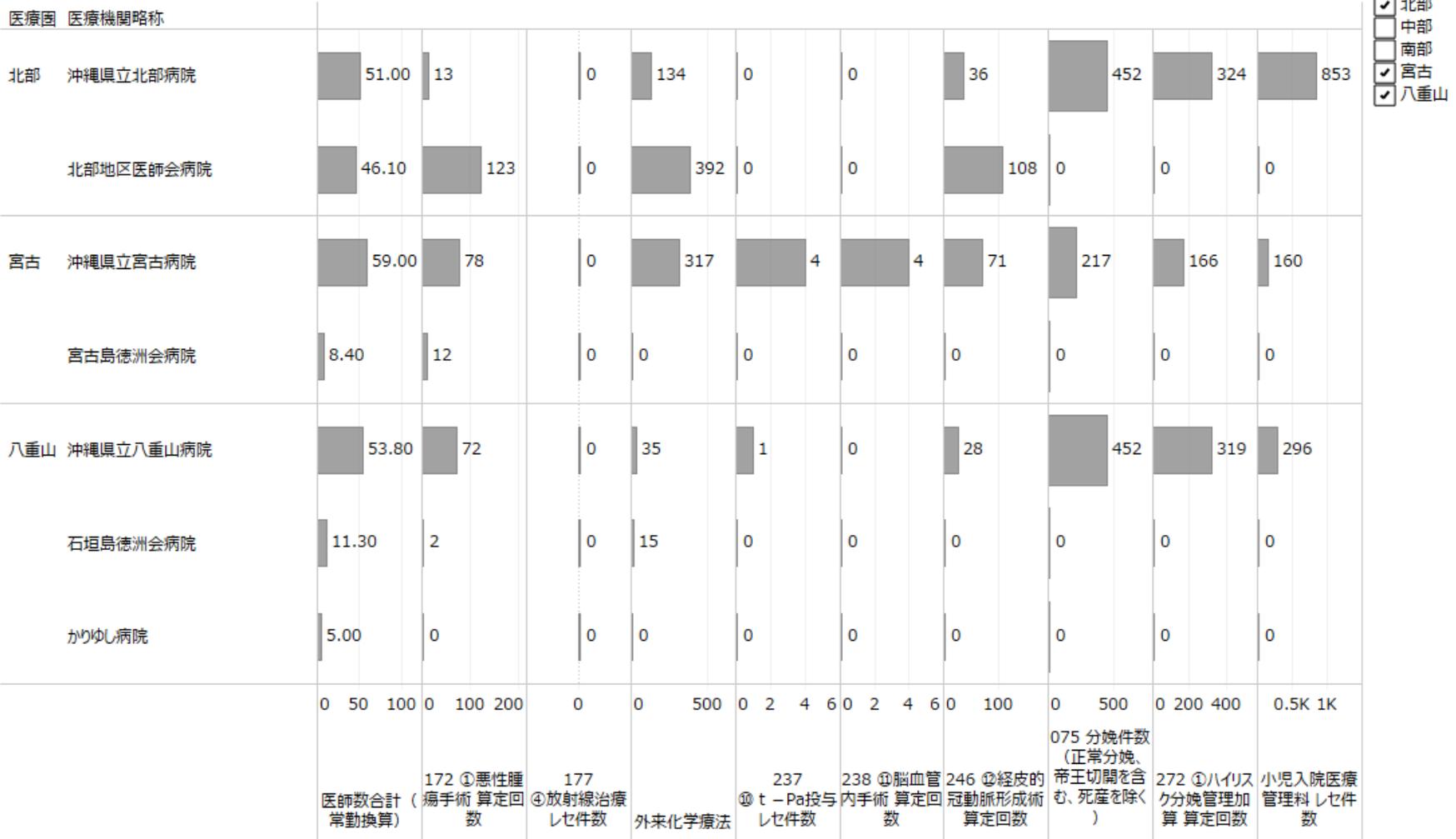
- 001A 各年7月1日時点の..
- 1\_高度急性期
  - 2\_急性期
  - 3\_回復期
  - 4\_慢性期

- 001A 各年7月1日時点の..
- 9\_不明
  - 1\_高度急性期
  - 2\_急性期
  - 3\_回復期
  - 4\_慢性期
  - 5\_休棟予定
  - 6\_廃止予定

- 急性期病床ありの医療機関
- 偽
  - 真

# 医療機関機能と主な実績：北部・宮古・八重山 5疾病6事業等

## 5疾病6事業等の対応状況



- 医療圏
- NULL
  - 北部
  - 中部
  - 南部
  - 宮古
  - 八重山